



# 三菱照明制御器

## MILCO.NET センサ設定器

### 形名 **MN3061**

### 取扱説明書



このたびは三菱照明制御器 センサ設定器をお買い上げいただきありがとうございます。


- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、いつでも見られる場所に保管し、移設、修理の時は工事される方に、またお使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。
- 設定する機器の取扱説明書もご一読してください。


# 目次

1.	安全のために必ず守ること	2
2.	使用時の確認事項	3
3.	画面構成	4
4.	基本機能	5
5.	各部の名称とはたらき	7
6.	電池の入れ方	9
7.	画面表示と基本操作	10
8.	メニュー	15
9.	調光コントローラ操作	16
10.	調光コントローラ設定	19
11.	照度センサ設定	38
12.	人感センサ設定	41
13.	画像センサ設定	45
14.	misola設定	58
15.	仕様	64

# 1. 安全のために必ず守ること

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

 **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

 **注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

## 異常時の処置

### 警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、直ちにアルカリ乾電池を抜き、煙が出なくなるのを確認してお近くのサービス窓口にご連絡ください。  
(やけどや火災の原因になります。)

図記号の意味は次のとおりです。



絶対に  
行わないで  
ください。  
**禁止**



必ず指示に  
従い行って  
ください。  
**厳守**

### 警告



**厳守**

電池のアルカリ液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受ける。  
失明など障害の原因になります。

電池のアルカリ液が皮膚に付着したときは、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流す。  
皮膚に障害を起こす原因になります。

### 注意



**禁止**

アルカリ乾電池の(+)、(-)を逆に挿入しない。古いアルカリ乾電池や違う種類の電池を混ぜて使わない。  
けが・故障の原因となることがあります。

アルカリ乾電池をショートさせることや分解・加熱または充電しない。  
液漏れ、破損、発熱によりけが・故障の原因となることがあります。

アルカリ乾電池に表示している「使用推奨期間」を過ぎての使用や使い切ったアルカリ乾電池をリモコンに入れたままにしない。  
液漏れによる故障の原因となることがあります。  
長時間使用しない場合は、リモコンから乾電池を外してください。

## 2. 使用時の確認事項

---

### ●設定時の確認事項

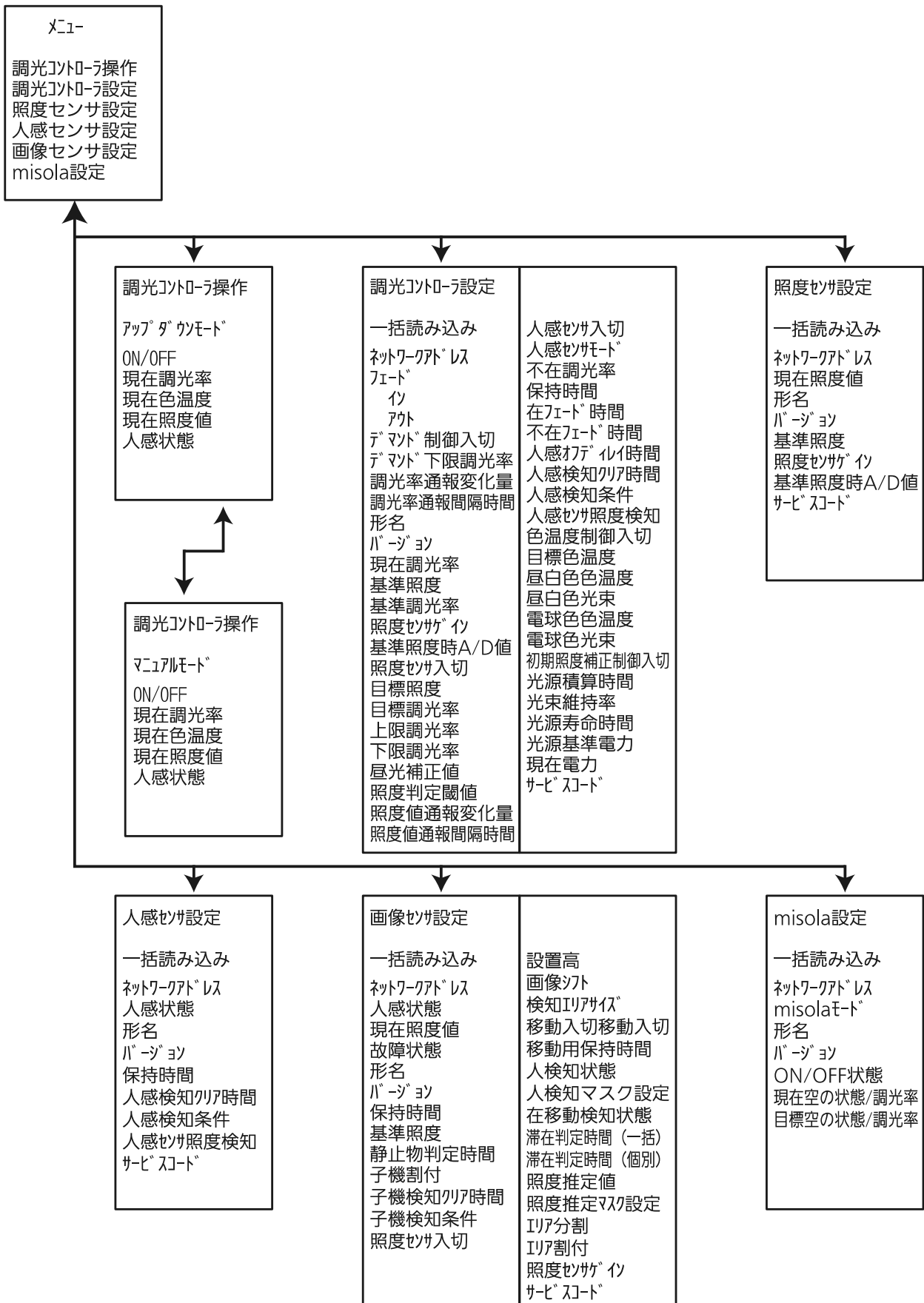
- ・接続台数や配線に問題がないことを確認し、システムが正常に起動して照明コントローラ（MN3051）の運転LEDランプが点灯状態になったことを確認してから使用してください。  
※点灯状態になっていない場合に設定を行うと設定データ異常が発生します。

### ●センサ設定器の送受信範囲

- ・センサ設定器（以下本機）の送受信可能距離は、照度センサなどの天井埋め込み機器では3m以内となります。
- ・本機の送受信角度は10°以内です。天井埋め込み機器の場合、操作対象機器の真下での操作をおすすめします。
- ・本機の液晶画面が薄くなった場合や、操作が効きにくい場合には、お早めにアルカリ乾電池を交換してください。

### 3. 画面構成

本機は下記の画面構成となります。画面の切替え方法は、「7. 画面表示と基本操作」を参照してください。



## 4. 基本機能

---

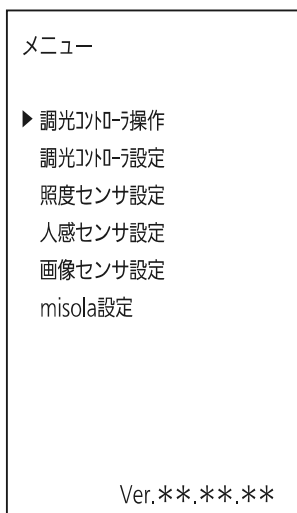
本機はMILCO.NETシステムの各端末器に対して、各種設定を行います。

各メニュー画面から機能を選択して使用します。

- 調光コントローラ操作 調光コントローラの点灯、消灯、明るさを操作します。
- 調光コントローラ設定 調光コントローラの動作を設定します。
- 照度センサ設定 照度センサの基準照度、ゲイン設定などを設定します。
- 人感センサ設定 人感センサの保持時間、検知条件などを設定します。
- 画像センサ設定 画像センサの設置高、検知マスクなどを設定します。
- misola 設定 調光コントローラの misola 仕様(misola モード)などを設定します。

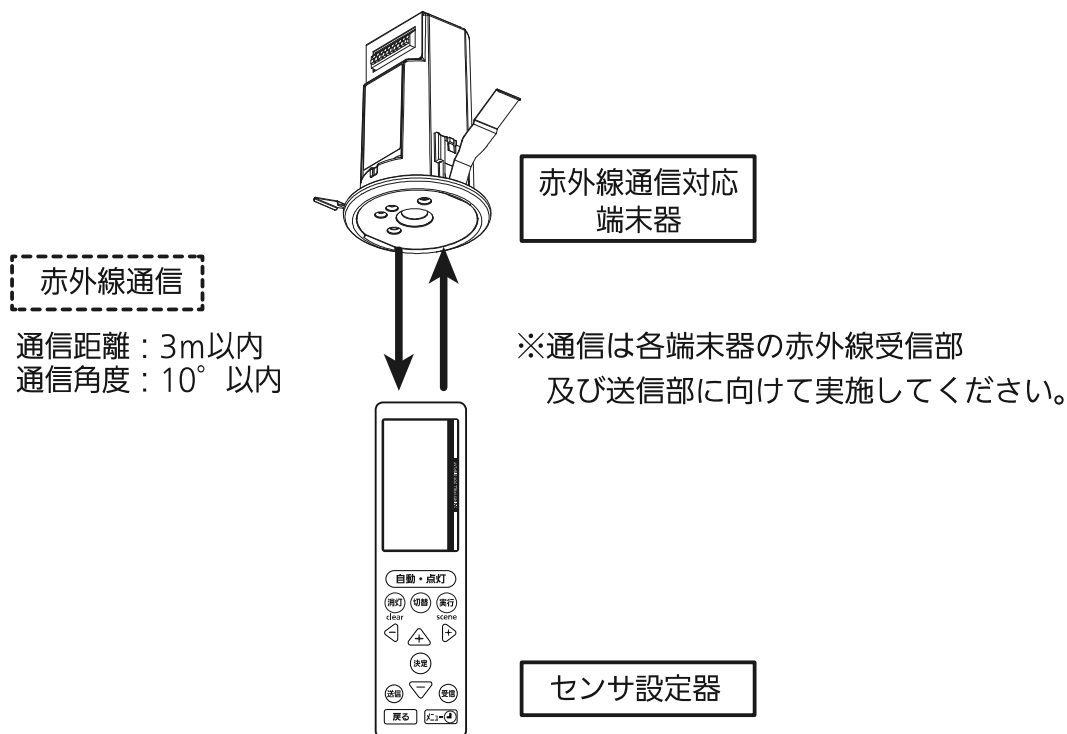
(画面表示が消えている場合、いずれかのボタンを押すと前回表示していた画面が起動します。

また、画面が起動した状態で  ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。)



## ■設定方式

端末直接通信方式は、赤外線通信可能な端末器とデータを直接送受信する方式で、下記の端末器の回路番号設定や照度センサ情報、人感センサ情報の設定に使用します。端末器との通信距離は3m以内です。



端末直接通信方式の設定に対応する端末器、形名、回路番号を以下に記載します。

端末器	形名	回路番号	
		アドレス	チャンネル
調光コントローラ（照度）	MN3801 等	0～95	1～4
調光コントローラ（照度・人感）	MN3802 等	0～95	1～4
照度センサ	MN3901	0～63	1～4
人感センサ	MN3902	0～63	1～4
照度人感センサ（*1）	MN3907	0～63	1～4
画像センサ（*2）	MN3908	0～63	—

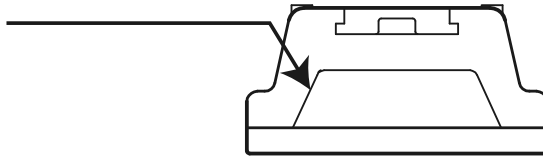
（\*1） 照度センサ、人感センサの機能を有効にするために、照度センサ用と人感センサ用の回路番号をそれぞれ設定する必要があります。

（\*2） 画像センサはチャンネル指定の必要がないため、アドレスのみの設定となりチャンネル1～4は自動的に設定されます。

## 5.各部の名称とはたらき

本機の各部の名称を示します。

●赤外線通信部



上面図

●3.5 インチ液晶

画面が表示されている間は暗い  
場所で見やすいように光ります。



正面図

⊙ 消灯 ボタン

調光コントローラ操作画面で照  
明の消灯信号を送信します。  
Clear は使用しません。

⊙ 切替 ボタン

各種操作画面でのモード切替お  
よび画像センサ設定画面でのブ  
ロック切替を行います。

◀ ▶ ボタン

項目選択、頁移動、色温度操作  
を行います。

⊙ 送信 ボタン

設定内容を送信します。

戻る ボタン

1つ前の画面に戻ります。

⊙ 自動・点灯 ボタン

調光コントローラ操作画面で  
照明の点灯信号を送信します。

⊙ 実行 ボタン

実行ボタンと scene は無効で  
す。(本機で使用しません)

⬆ ⬇ ボタン

項目選択、数値選択および調  
光率を操作します。

⊙ 決定 ボタン

選択内容を決定します。

⊙ 受信 ボタン

選択内容を受信します。

メニュー ◯ ボタン

メニュー画面に戻ります。  
タイマー ◯ は使用しません。



●フックの掛け穴

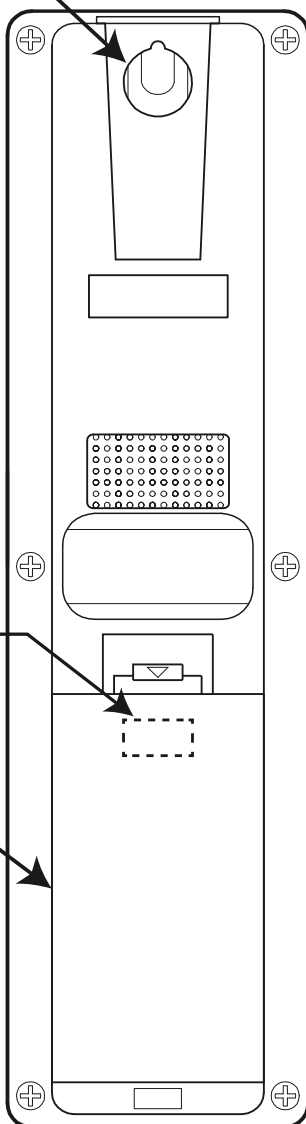
※リモコンを壁に取付けるときは、フックの掛け穴を“カチッ”と音がするまで引き出して、フックに掛けて使用してください。

背面図

●リセットボタン

(電池カバー下)  
本機をリセットします。

●電池カバー



<付属品>

- (1) 取扱説明書 (本紙)
- (2) 単 3 アルカリ乾電池 2 本

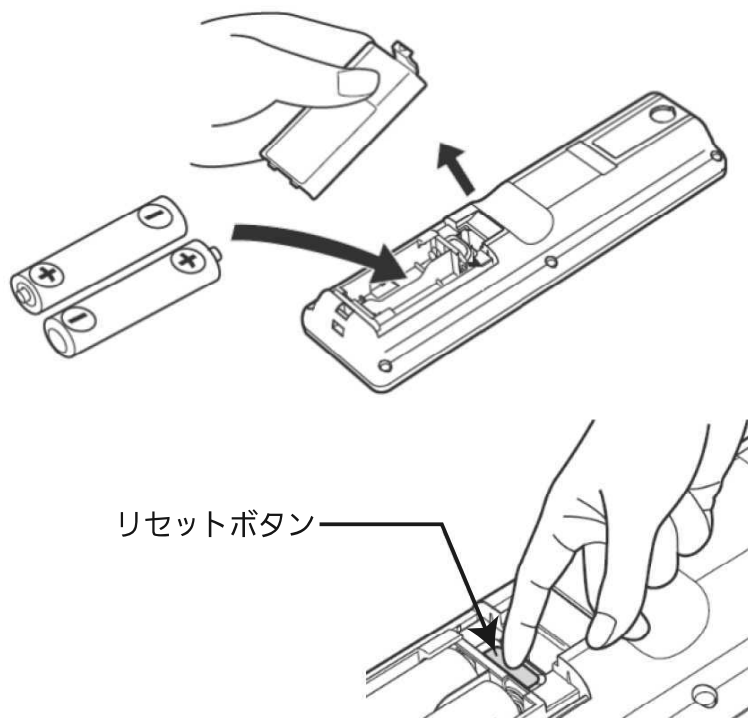
※付属の電池は動作確認用です。本機の液晶画面が薄くなった場合や、操作が効きにくい場合は、お早めに電池を交換してください。

※充電式電池は使用しないでください。

## 6.電池の入れ方

本機にアルカリ乾電池を入れて使用します。

- (1) 本機背面の電池カバーを開けます。
- (2) 2本の単3形アルカリ乾電池（LR6）の＋極性を確認して挿入します。
- (3) リセットボタンを押すと基本メニュー画面が表示されます。
- (4) 電池カバーを閉めます。



メニュー

- ▶ 調光コントロール操作
- 調光コントロール設定
- 照度センサ設定
- 人感センサ設定
- 画像センサ設定
- misola設定

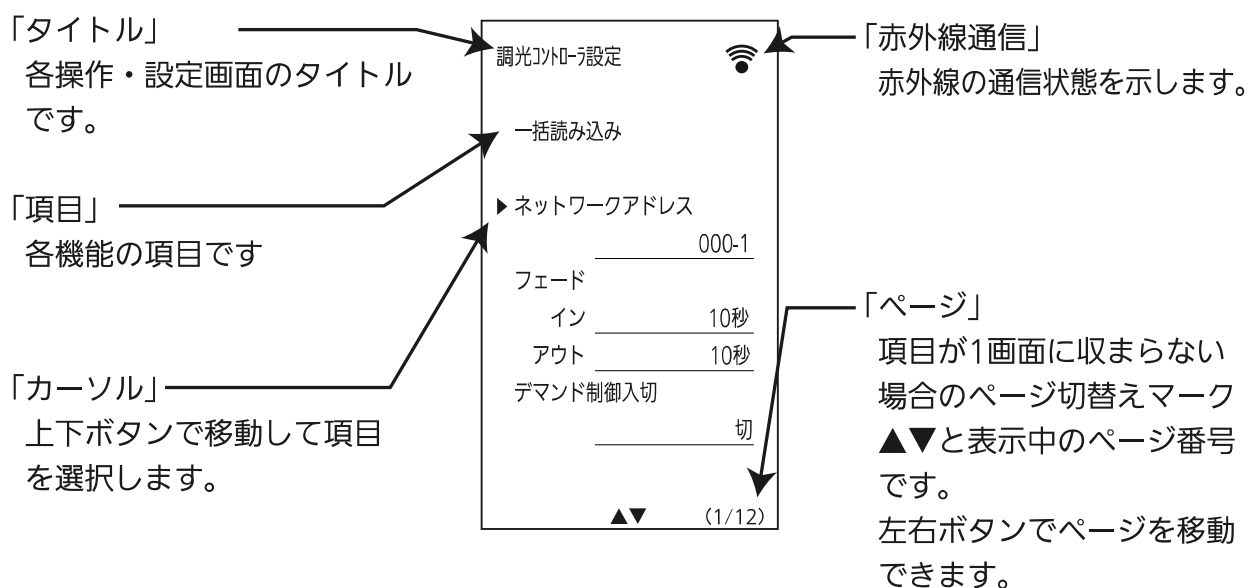
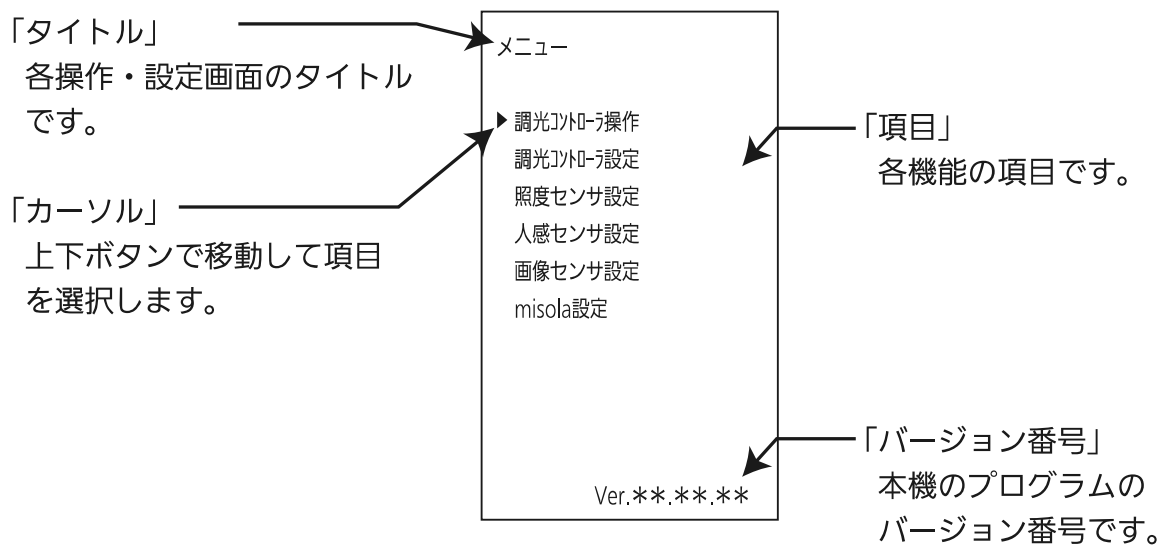
Ver.\*\*.\*\*.\*\*

## 7.画面表示と基本操作

画面の表示内容と基本的な操作を説明します。詳しくは各項目を参照してください。

### 7.1.表示名称

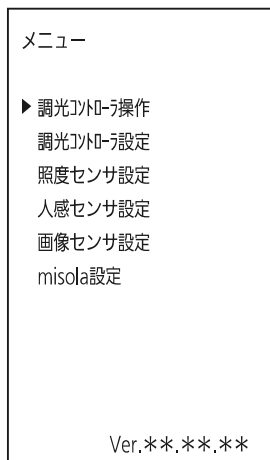
#### 【画面表示例】



## 7.2.項目の選択操作

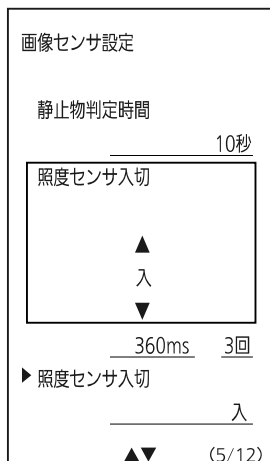
項目の選択操作例を以下に記載します。

### (1) 表示された項目の中から上下操作



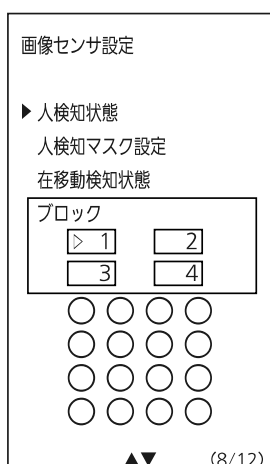
△ボタンや▽ボタンを押して該当項目のカーソル▶を上下移動し、設定したい項目に合わせて(決定)ボタンを押し、各画面に移動します。

### (2) 上下操作で変化する項目を選択



選択項目の上下に▲▼マークがある場合に△ボタンや▽ボタンを押して該当項目の設定値を変化して選択します。

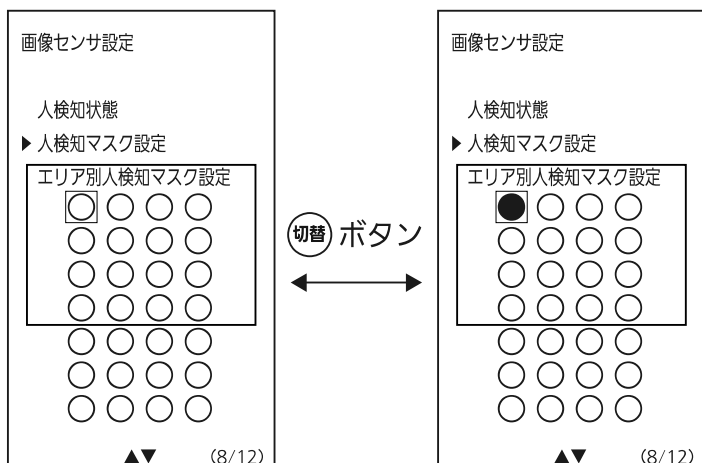
### (3) ブロックの選択



切替ボタンで設定したいブロックを選択します。

※さらに(決定)ボタンを押すと次項(4)の画面になる項目もあります。

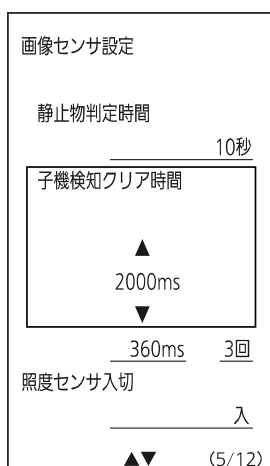
#### (4) 「O」マークの選択



△+ △- ボタンと◀ ▶ ボタンで設定したいポイントにカーソルを移動し、  
 (切替) ボタンを押して選択します。

#### (5) 数値の入力操作

上下操作で変化する数値の選択



△+ ボタンや △- ボタンを押すと数値を増減させます。

入力可能な数値の範囲は設定画面ごとに異なります。

(各画面での入力可能な数値の範囲については、9～13章に記載の設定値参照。)

長押しをすると項目によっては変化量が増えます。

### 7.3. ページの切替え操作

各設定画面におけるページの切替え操作を以下に記載します。

◀ ▶ ボタンを押して、ページを切替えます。

例. 調光コントローラ設定画面でページを切替えたい場合



## 7.4.メニューボタン

メニューに移動します。

## 7.5.戻るボタン

ひとつ前の項目に移動します。

## 7.6.赤外線通信状態

各設定画面で (送信) または (受信) ボタンを押すと、赤外線通信を行います。

送信または受信中は 無線マークが画面右上に表示されます。

無線マークが消えるまでは、本機の赤外線通信部の向きを固定してください。

受信時に 無線マーク表示後に (失敗) マークが表示された場合は受信失敗です。

受信操作を再度実施してください。

送信時は失敗の判定がないため、受信して設定内容を確認してください。

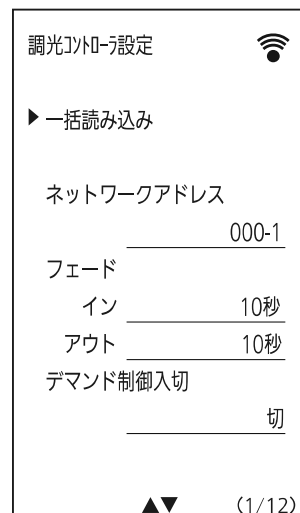
## 7.7.設定値個別受信

各設定項目にカーソルを合わせ、受信ボタンを押すことで現在のセンサ、コントローラの設定値が表示されます。

## 7.8.一括読み込み

各メニューのサービスコード以外の内容をまとめて読み込みます。

- (1) (戻る) (メニュー) ボタン操作で「一括読み込み」にカーソルを合わせた後、(受信) ボタンを押すと、各メニューの内容を全て受信して表示します。受信中は、無線マークが連続して表示されます。



## 7.9.省電力機能

画面の表示電力を節約するために、約1分間ボタンを押さないと画面表示が自動的に消えます。

その後、いずれかのボタンを押すと画面が表示され再開されます。

## 7.10. サービスコード









システムの各機器で発生した履歴を確認します。

※本機能はサービスマン向け機能となります。通常は使用しません。

メニュー画面から各機器設定のサービスコード画面を表示してデータを受信します。

例として先頭No.2のサービスコードを確認する場合は以下の手順です。

※受信単位はページ毎になるため、確認するページ毎にデータを受信してください。

- (1)   ボタン操作で「サービスコード」にカーソルを合わせた後、 ボタン押して入力画面を開きます。
- (2)   ボタン操作で、「2」を選択し、 ボタンを押して数値を確定します。
- (3) 確定後、対象機器に向けて  ボタンを押すと、サービスコードを受信して表示します。赤外線を受信中は、 マークが表示されます。


(1) 入力画面を開く

調光コントロール設定			
▶ サービスコード 先頭No.			
#	/	:	:
		#	
#	/	:	:
		#	
#	/	:	:
		#	
#	/	:	:
		#	
			▲▼ (12/12)

(2) 先頭No.を選択

調光コントロール設定			
▶ サービスコード 先頭No.			
			2
#	/	:	:
		#	
#	/	:	:
		#	
#	/	:	:
		#	
#	/	:	:
		#	
			▲▼ (12/12)

(3) 受信ボタンを押下

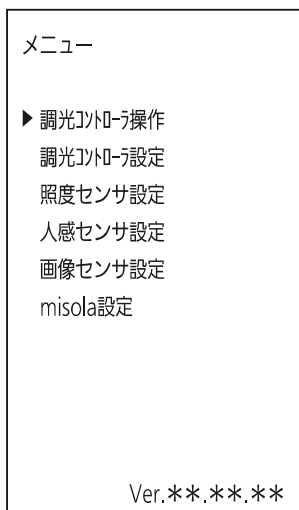
調光コントロール設定 			
▶ サービスコード 先頭No.			
			2
#	/	:	:
		#	
#	/	:	:
		#	
#	/	:	:
		#	
#	/	:	:
		#	
			▲▼ (12/12)

## 8.メニュー

各機器の操作や設定を選択します。

△▽ ボタンでカーソルを移動して各機器の設定項目を選択し、(決定) ボタンを押すと選択した操作や設定画面が表示されます。

各画面で (メニュー) ボタンを押すとこの画面に戻ります。



### 各選択項目と内容

- 調光コントローラ操作 調光コントローラの点灯、消灯、明るさを操作します。
- 調光コントローラ設定 調光コントローラの動作に関する各種設定を行います。
- 照度センサ設定 照度センサの動作に関する各種設定を行います。
- 人感センサ設定 人感センサの動作に関する各種設定を行います。
- 画像センサ設定 画像センサの動作に関する各種設定を行います。
- misola設定 調光コントローラでmisola移ろい連動タイプの照明器具を制御する場合に必要な各種設定を行います。



## 9.調光コントローラ操作

調光コントローラの点灯、消灯、明るさの操作を行います。

メニュー画面から「調光コントローラ操作」を選択すると調光コントローラ操作画面を表示します。

※本機で調光コントローラを操作するには調光コントローラ設定にて形名を合わせる必要があります。操作したい調光コントローラ形名を「調光コントローラ設定」の「形名」で設定してください。  
(調光コントローラ設定 2/12ページ)

調光コントローラ操作 アップダウンモード	
ON/OFF	OFF
現在調光率	70.0%
現在色温度	5000K
現在照度値	Lx
人感状態	

### 9.1.モードについて

アップダウンモード：ボタン操作にて直接調光率、色温度を操作するモードです。

⊕ ⊖ ◀ ▶ を押すたびに送信されます。

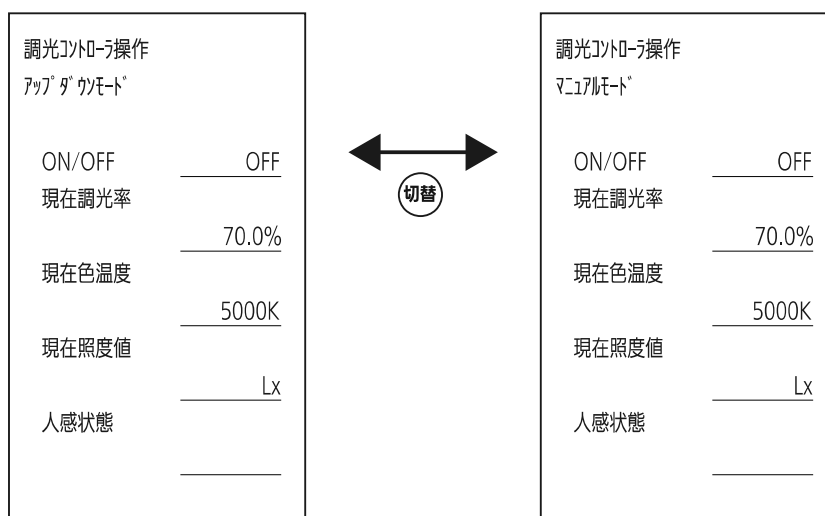
マニュアルモード：ボタン操作にて値を変更し、指定した調光率、色温度にするモードです。

送信 を押すまで変化しません。

アップダウンモードとマニュアルモードは 切替 ボタンで切替えられます。

アップダウンモードとマニュアルモードで操作方法が異なります。


※どちらのモードでも点灯、消灯は押すたびに送信されます。




## (1) アップダウンモード

-  ボタン

照明を目標調光率の明るさ、目標色温度の色温度で点灯します。

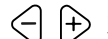
-  ボタン

照明を消灯します。

-  ボタン


押すたびに照明の明るさを変えます。

短 / 長		
短押し	調光率 +0.5%	調光率 -0.5%
長押し	調光率 +5%	調光率 -5%


-  ボタン



押すたびに照明の色温度を変えます。

短 / 長		
短押し	色温度 -20K	色温度 +20K
長押し	色温度 -200K	色温度 +200K

-  ボタン

ON/OFF状態、現在調光率、現在色温度、現在照度値、人感状態を調光コントローラから受信し、本機に表示します。


赤外線を受信中は  アイコンが5回表示されますので本機を調光コントローラに向けたままにします。

-   ボタンは使用しません。


## (2) マニュアルモード

-  ボタン


照明を目標調光率の明るさ、目標色温度の色温度で点灯します。

-  ボタン

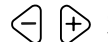
照明を消灯します。

-  ボタン

点灯させたい明るさに調光率を設定し、 ボタンを押してください。


 を押すと本機の画面に表示されている現在調光率、現在色温度で点灯します。

短 / 長		
短押し	調光率 +0.5%	調光率 -0.5%
長押し	調光率 +5%	調光率 -5%


-  ボタン


押すたびに照明の色温度を変えます。

短 / 長		
短押し	色温度 -20K	色温度 +20K
長押し	色温度 -200K	色温度 +200K

-  ボタン

ON/OFF状態、現在調光率、現在色温度、現在照度値、人感状態を調光コントローラから受信し、本機に表示します。

赤外線を受信中は  アイコンが5回表示されますので本機を調光コントローラに向けたままにします。

-  ボタンは使用しません。

## 10.調光コントローラ設定

調光コントローラの設定をするためには「形名」(2/12)を設定したい調光コントローラの形名に合わせてください。

■調光コントローラは以下の4項目を設定すればご使用になれます。

- 1.形名 (2/12)
- 2.ネットワークアドレス (1/12)
- 3.照度センサ入切 (4/12)
- 4.基準照度 (3/12)

### 10.1.調光コントローラの設定手順

調光コントローラの設定をします。

#### 調光コントローラ設定 (1/12ページ)

調光コントローラ設定

▶一括読み込み

ネットワークアドレス 000-1

フェード  
イン 10秒  
アウト 10秒

デマンド制御入切 切

▲▼ (1/12)

#### ●一括読み込み (必要に応じて)

調光コントローラの設定値を本機に読み込みます。

調光コントローラの設定内容を確認する場合や、複数の調光コントローラに同じ設定をする場合に使用します。

※読み込んだ設定値の送信は各項目で行ってください。

調光コントローラに赤外線通信部を向けて(受信)ボタンを押します。赤外線を受信中は、📶アイコンが数十秒間点滅表示が続くので本機を調光コントローラにむけたままにします。

#### ●ネットワークアドレス

ネットワークアドレスを設定します。

照明コントローラで制御するため、アドレスとチャンネルを登録します。

※1台の照明コントローラには同じアドレスを複数設定しないでください。

⊕⏪ボタンで「ネットワークアドレス」にカーソル▶を合わせ(決定)ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕⏪ボタンで「001」などのアドレス番号を変更後、⏩ボタンを押してチャンネルの設定へ移ります。

⊕⏪ボタンで「1」などのチャンネル番号を変更後、(決定)ボタンを押して確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて(送信)ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶アイコンが表示されます。

## ●フェード（イン、アウト）

点灯、消灯時とシーンが切り替わる際のフェードを設定します。  
設定した時間をかけてゆっくり変化します。

0%から100%に変化するのに要する時間を指定します。

△▽ボタンで「フェード」にカーソル▶を合わせ、Ⓢボタンを押して入力画面を開きます。

フェードイン時間を変更する場合カーソルを「イン」に合わせた後、

△▽ボタンで「40秒」などの時間を選択します。

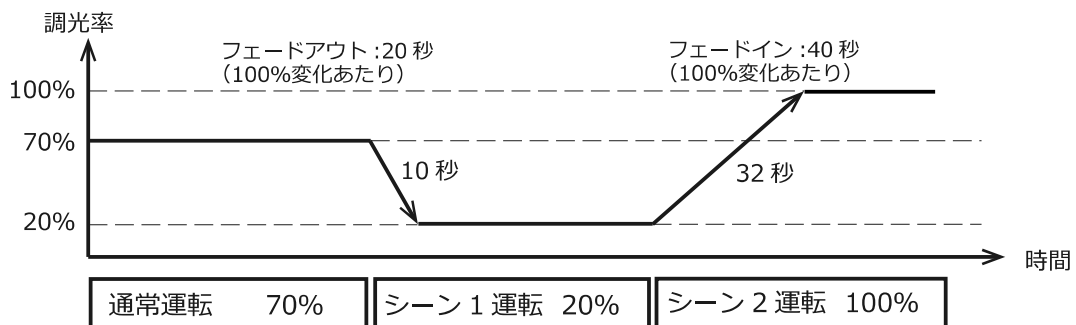
フェードアウト時間を変更する場合カーソルを「アウト」に合わせた後、

△▽ボタンで「20秒」などの時間を選択します。

Ⓢボタンを押すと入力画面が閉じて値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けてⓈボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶アイコンが表示されます。

【設定例】



## ●デマンド制御入切

デマンド制御の入切を変更したい場合に設定します。

上位からのデマンド制御を受けつける場合は「入」

制御しない場合は「切」にします。

△▽ボタンで「デマンド制御入切」に▶カーソルを合わせ、

Ⓢボタンを押して入力画面を開きます。

△▽ボタンで「入」または「切」を選択し、Ⓢボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けてⓈボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶アイコンが表示されます。




## 調光コントローラ設定 (2/12ページ)




調光コントローラ設定	
▶ デマンド下限調光率	25.0%
調光率通報変化量	0.0%
調光率通報間隔時間	0秒
形名	MN3802
バージョン	Ver.**.**.**
▲▼ (2/12)	



### ●デマンド下限調光率

デマンド制御時の下限調光率を設定します。

デマンド制御された場合でもデマンド下限調光率で設定した調光率より下がりにません。




  ボタンで「デマンド下限調光率」にカーソル▶を合わせ、 ボタンを押すと入力画面が開きます。




  ボタンで「20%」などの値を選択し、 ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。



確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、 アイコンが表示されます。

### ●調光率通報変化量

照明コントローラに調光率の変化を通報する変化量を設定します。変化量以上の変化があった場合に通報します。




  ボタンで「調光率通報変化量」にカーソル▶を合わせ、 ボタンを押すと入力画面が開きます。




  ボタンで「50%」などの値を選択し、 ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。



確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、 アイコンが表示されます。

### ●調光率通報間隔時間

照明コントローラに調光率の変化を通報する時間間隔を設定します。通報間隔時間ごとに通報します。通報間隔時間のタイミングでも「調光率通報変化量」以上の調光率変化がない場合は通報しません。

  ボタンで「調光率通報間隔時間」にカーソル▶を合わせ、 ボタンを押すと入力画面が開きます。

  ボタンで「60秒」などの値を選択し、 ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、 アイコンが表示されます。

## ●形名

センサ設定器で設定を行う形名を選択します。

△▽ ボタンで「形名」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

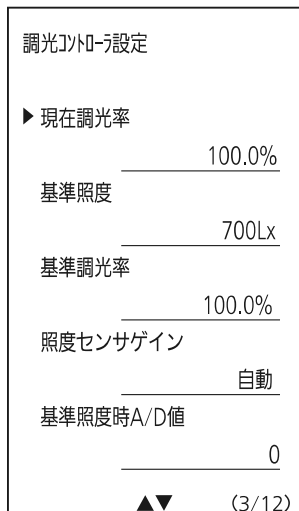
△▽ ボタンで「MN3801」など本機で設定したい形名を選択してください。

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

## ●バージョン

調光コントローラのソフトウェアバージョンを受信して表示します。

## 調光コントローラ設定 (3/12ページ)



### ●現在調光率

調光コントローラの現在調光率を設定します。

△▽ ボタンで「現在調光率」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

△▽ ボタンで「70%」などの値を選択し、Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けてⓉ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ●基準照度

照度センサの感度を設定します。

器具の調光率を「基準調光率」で点灯し、調光コントローラの直下の机の上の照度を測定し、測定した照度値を設定してください。

照度一定制御するための基準となります。

※レイアウト変更などを行った場合はこの設定を行ってください。

※設定を行う場合は、昼光の影響がない夜間に行うか、ブラインドなどを閉めて直射光が検知範囲に入らないように行ってください。

△▽ ボタンで「基準照度」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

△▽ ボタンで「750Lx」などの値を選択し、Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。



確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けてⓉ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。






### ●基準調光率


基準照度を設定する際の調光率を設定します。



「基準照度」を設定する際の調光率を設定します。

  ボタンで「基準調光率」にカーソル▶を合わせ、

 ボタンを押すと入力画面が開きます。

  ボタンで「80%」などの値を選択し、

 ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。



確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて  ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、 アイコンが表示されます。

### ●照度センサゲイン



照度センサのゲインを設定します。通常は変更しません。


通常は明るさにより照度センサのゲインがレベル1~4で自動で切り替わります。固定すると照度検知範囲、精度が悪くなる場合があります。



※基本は自動に設定してください。

  ボタンで「照度センサゲイン」にカーソル▶を合わせ、

 ボタンを押すと入力画面が開きます。

  ボタンで「自動」などの値を選択し、

 ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて  ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、 アイコンが表示されます。

### ●基準照度時A/D値


基準照度のA/D値（センサ値）を設定します。通常は変更しません。



「基準照度」の設定でA/D値は決まりますが、変更することで基準照度を変えることができます。

  ボタンで「基準照度時A/D値」にカーソル▶を合わせ、

 ボタンを押すと入力画面が開きます。

  ボタンで「500」などの値を選択し、

 ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて  ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、 アイコンが表示されます。

## 調光コントローラ設定 (4/12ページ)

調光コントローラ設定	
▶ 照度センサ入切	入
目標照度	1000Lx
目標調光率	100.0%
上限調光率	100.0%
下限調光率	25.0%
▲▼ (4/12)	

### ●照度センサ入切

照度センサ機能を入切します。

「切」にすると照度機能は無効になります。

△▽ ボタンで「照度センサ入切」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

△▽ ボタンで「入」「切」を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けてⓈ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ●目標照度

照度センサを「入」にした場合に点灯時の照度を設定します。

△▽ ボタンで「目標照度」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

△▽ ボタンで「600Lx」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けてⓈ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ●目標調光率

照度センサを「切」にした場合に点灯時の調光率を設定します。

△▽ ボタンで「目標調光率」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

△▽ ボタンで「50%」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けてⓈ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、📶 アイコンが表示されます。

※照度センサを「入」にしている場合は照度センサによる調光率制御が優先されます。

### ●上限調光率

照度一定制御時の上限調光率を設定できます。

上限調光率で設定した調光率より明るくなくなります。

△▽ ボタンで「上限調光率」にカーソル ▶ を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

△▽ ボタンで「90%」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ●下限調光率

照度一定制御時の下限調光率を設定できます。下限調光率で設定した調光率より暗くなくなります。0にすると消灯まで行きます。

△▽ ボタンで「下限調光率」にカーソル ▶ を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

△▽ ボタンで「10%」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

## 調光コントローラ設定 (5/12ページ)

調光コントローラ設定	
▶ 昼光補正值	50%
照度判定閾値	30Lx
照度値通報変化量	10Lx
照度値通報間隔時間	30秒
▲▼ (5/12)	

### ●昼光補正值

昼光補正時の昼光の割合を設定できます。

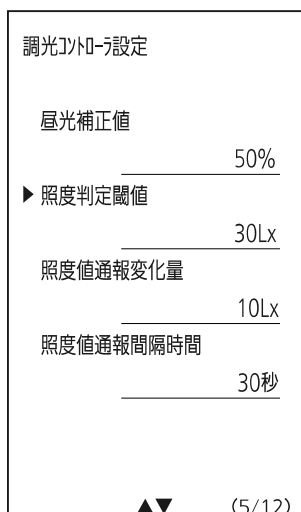
△▽ ボタンで「昼光補正值」にカーソル ▶ を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

△▽ ボタンで「40%」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。



### ●照度判定閾値

照度判定をする閾値を設定できます。少しの明るさの変化で制御を行わないようにするため、閾値未満の照度変化の場合、制御を行いません。少なくした場合、ちらつきが出る場合があります。

△▽ボタンで「照度判定閾値」にカーソル▶を合わせ、

決定ボタンを押すと入力画面が開きます。

△▽ボタンで「100Lx」などの値を選択し、

決定ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて送信ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、送信アイコンが表示されます。

### ●照度値通報変化量

照明コントローラに照度の変化を通報する変化量を設定します。変化量以上の変化があった場合に通報します。

△▽ボタンで「照度値通報変化量」にカーソル▶を合わせ、

決定ボタンを押すと入力画面が開きます。

△▽ボタンで「100Lx」などの値を選択し、

決定ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて送信ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、送信アイコンが表示されます。

### ●照度値通報間隔時間

照明コントローラに照度の変化を通報する時間間隔を設定します。通報間隔時間ごとに通報します。通報間隔時間のタイミングでも「照度値通報変化量」以上の照度変化がない場合は通報しません。

△▽ボタンで「照度値通報間隔時間」にカーソル▶を合わせ、

決定ボタンを押すと入力画面が開きます。

△▽ボタンで「160秒」などの値を選択し、

決定ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて送信ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、送信アイコンが表示されます。

## 調光コントローラ設定 (6/12ページ)

調光コントローラ設定	
▶ 人感センサ入切	切
人感センサモード	通常
不在調光率	0.0%
保持時間	5分
在フェード時間	5秒
▲▼ (6/12)	

### ●人感センサ入切

人感センサ機能を入切します。

「切」にすると人感機能は無効になります。

⊕ ⊖ ボタンで「人感センサ入切」にカーソル ▶ を合わせ、

⊙ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「入」などの値を選択し、

⊙ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ⊙ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ●人感センサモード

【不在】になった際の動作を設定します。

「通常」：【不在】になってから「人感オフディレイ時間」で設定した時間「不在調光率」で点灯し、その後消灯します。

「残置」：【不在】になった際「不在調光率」で点灯し続けます。

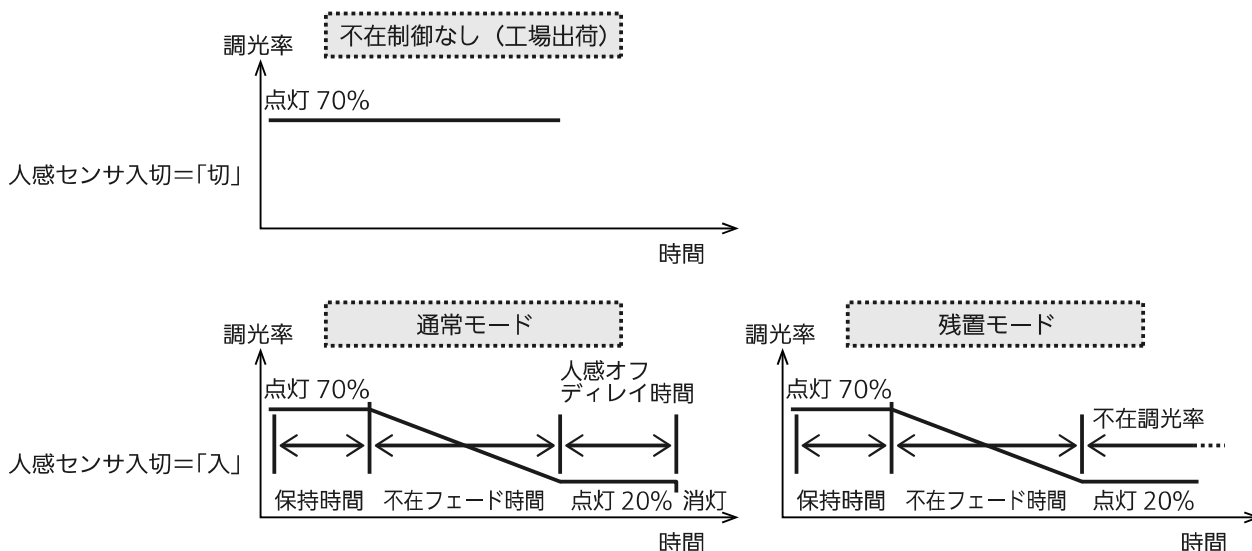
⊕ ⊖ ボタンで「人感センサモード」にカーソル ▶ を合わせ、

⊙ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「通常」などの値を選択し、

⊙ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ⊙ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。



調光コントローラ設定	
人感センサ入切	切
人感センサモード	通常
▶ 不在調光率	0.0%
保持時間	5分
在フェード時間	5秒
▲▼ (6/12)	

### ●不在調光率

【不在】時の調光率を設定します。

⊕ ⊖ ボタンで「不在調光率」にカーソル ▶ を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「10%」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ●保持時間

不在状態になってから明るさが変化するまでの時間を変更できます。

⊕ ⊖ ボタンで「保持時間」にカーソル ▶ を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「60秒」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ●在フェード時間

【不在】から【在】になった際のフェードを設定します。

設定した時間をかけてゆっくり点灯します。

0%から100%に変化した場合の時間を指定します。

⊕ ⊖ ボタンで「在フェード時間」にカーソル ▶ を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「5秒」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、📶 アイコンが表示されます。

## 調光コントローラ設定 (7/12ページ)

調光コントローラ設定	
▶ 不在フェード時間	5秒
人感オフディレイ時間	0秒
人感検知クリア時間	200ms
人感検知条件	350ms 3回
人感センサ照度検知	切
▲▼	(7/12)

### ●不在フェード時間

【在】から【不在】になった際のフェードを設定します。

設定した時間をかけてゆっくり消灯します。

0%から100%に変化した場合の時間を指定します。

△▽ ボタンで「不在フェード時間」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

△▽ ボタンで「30秒」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けてⓈ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ●人感オフディレイ時間

「人感センサモード」が通常モード時に「不在調光率」で点灯する時間を設定できます。

△▽ ボタンで「人感オフディレイ時間」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

△▽ ボタンで「100秒」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けてⓈ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ●人感検知クリア時間

ノイズによる人感センサの誤動作を防止する設定です。

※時間や回数の値を大きくすると誤動作は起きにくくなるが、センサの反応が遅くなります。

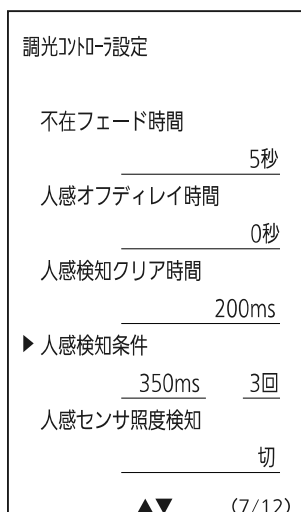
△▽ ボタンで「人感検知クリア時間」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

△▽ ボタンで「100ms」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けてⓈ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。



## ●人感検知条件

人感センサの検出条件を変更します。通常は変更しません。ノイズによる人感センサの誤動作の防止を防止する設定です。時間、回数を増やすことで誤動作は起きにくくなりますが、センサの反応が悪くなることがあります。

※人感センサの感度を調整したい場合に設定を変更します。

通常は変更しないでください。

ボタンで「人感検知条件」にカーソル▶を合わせ、  
 ボタンを押すと入力画面が開きます。カーソルを「ms」に合わせた後  
 ボタンで「100ms」などの値を選択して時間検知時間を変更後 ボタンを押して人感検知回数の設定へ移ります。カーソルを「回」に合わせた後 ボタンで「3回」などの値を選択し、  
 ボタンを押して入力画面を閉じると、時間検知時間と人感検知回数の値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、 アイコンが表示されます。

## ●人感センサ照度検知

明るいときに人感センサが検知しても点灯しないように設定できます。設定した明るさより明るい場合は人感センサが検知しても【在】になりません。

ボタンで「人感センサ照度検知」にカーソル▶を合わせ、  
 ボタンを押すと入力画面が開きます。  
 ボタンで「2500Lx」などの値を選択し、  
 ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、 アイコンが表示されます。





### ●色温度制御入切

色温度制御をする場合、「色温度」に設定します。

色温度制御をする場合は、専用の照明器具が必要です。

ボタンで「色温度制御入切」にカーソル▶を合わせ、

ボタンを押すと入力画面が開きます。

ボタンで「色温度」などの値を選択し、

ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、 アイコンが表示されます。

### ●目標色温度

点灯時の色温度を設定します。

ボタンで「目標色温度」にカーソル▶を合わせ、

ボタンを押すと入力画面が開きます。

ボタンで「4000K」などの値を選択し、

ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、 アイコンが表示されます。

### ●昼白色色温度

色温度制御をする場合の昼白色の色温度を設定します。昼白色照明の仕様色温度もしくは色温度計で測定した値を設定します。測定する場合は、昼白色のみ点灯してください。

※色温度制御はこの値をもとに各照明の比率を算出します。

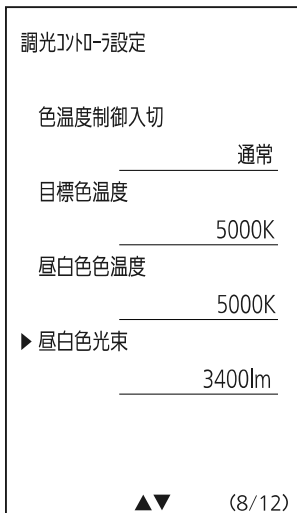
ボタンで「昼白色色温度」にカーソル▶を合わせ、

ボタンを押すと入力画面が開きます。

ボタンで「5000K」などの値を選択し、

ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、 アイコンが表示されます。



### ●昼白色光束

色温度制御をする場合の昼白色の全光束を設定します。昼白色照明の全光束仕様値を設定します。

※色温度制御はこの値をもとに各照明の比率を算出します。

⊕ ⊖ ボタンで「昼白色光束」にカーソル ▶ を合わせ、

ⓧ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「500lm」などの値を選択し、

ⓧ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ⓧ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### 調光コントローラ設定 (9/12ページ)



### ●電球色色温度

色温度制御をする場合の電球色の色温度を設定します。

電球色照明の仕様色温度もしくは色温度計で測定した値を設定します。測定する場合は、電球色のみ点灯してください。

※色温度制御はこの値をもとに各照明の比率を算出します。

⊕ ⊖ ボタンで「電球色色温度」にカーソル ▶ を合わせ、

ⓧ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「3000K」などの値を選択し、

ⓧ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ⓧ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ●電球色光束

色温度制御をする場合の電球色の全光束を設定します。

電球色照明の全光束仕様値を設定します。

※色温度制御はこの値をもとに各照明の比率を算出します。

⊕ ⊖ ボタンで「電球色光束」にカーソル ▶ を合わせ、

ⓧ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「500lm」などの値を選択し、

ⓧ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ⓧ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

## 調光コントローラ設定 (10/12ページ)

調光コントローラ設定	
▶ 初期照度補正制御入切	切
光源積算時間	0時間
光束維持率	80.0%
光源寿命時間	40000時間
光源基準電力	1000.0w
▲▼ (10/12)	

### ●初期照度補正制御入切

初期照度補正を入切します。「入」にした場合は初期照度補正を行い、経年劣化に合わせた制御を行います。

「切」にした場合は目標調光率で制御します。

⊕ ⊖ ボタンで「初期照度補正制御入切」にカーソル▶を合わせ、  
Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「入」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ●光源積算時間

初期照度補正をする際に設定します。照明器具の点灯積算時間の受信及び設定ができます。

※送信ボタンを押すと、本機に表示されている時間が調光コントローラに書き込まれますので注意してください。

⊕ ⊖ ボタンで「光源積算時間」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「10000時間」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ●光束維持率

初期照度補正をする際に設定します。照明器具の光束維持率を設定できます。

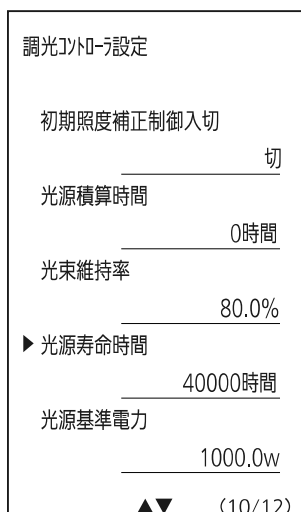
⊕ ⊖ ボタンで「光束維持率」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「50%」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。



### ●光源寿命時間

初期照度補正をする際に設定します。

照明器具の寿命時間を設定できます。

ボタンで「光源寿命時間」にカーソル▶を合わせ、

ボタンを押すと入力画面が開きます。

ボタンで「20000時間」などの値を選択し、

ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、 アイコンが表示されます。

### ●光源基準電力

照明器具の電力を設定します。

ボタンで「光源基準電力」にカーソル▶を合わせ、

ボタンを押すと入力画面が開きます。

ボタンで「2500W」などの値を選択し、

ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、 アイコンが表示されます。

## 調光コントローラ設定 (11/12ページ)

### ●現在電力

現在の電力値を受信して表示できます。



## 調光コントローラ設定 (12/12ページ)

### ●サービスコード

サービスコードを確認する場合に使用します。

保守用のため、通常は使用しません。

## 10.2.調光コントローラ設定におけるデータ確認手順

- (1) 受信したい項目にカーソルを合わせた後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて、を押すと、選択した項目のデータを受信して表示します。赤外線を受信中は、アイコンが表示されます。

## 10.3.調光コントローラ設定における設定内容・範囲

設定項目	設定内容または範囲
ネットワークアドレス (アドレス)	0 ~ 95
ネットワークアドレス (チャンネル)	1 ~ 4
フェードイン時間	0 秒 ~ 179 秒 (1 秒刻み)、 3 分 ~ 78 分 (1 分刻み)
フェードアウト時間	0 秒 ~ 179 秒 (1 秒刻み)、 3 分 ~ 78 分 (1 分刻み)
デマンド制御入切	切 / 入
デマンド下限調光率	0.0 ~ 100.0% (0.5% 刻み)
調光率通報変化量	0.0 ~ 100.0% (0.5% 刻み)
調光率通報間隔時間	0 秒 ~ 179 秒 (1 秒刻み)、 3 分 ~ 78 分 (1 分刻み)
形名	MN3801/MN3802
現在調光率	0.0 ~ 100.0% (0.5% 刻み)
基準照度	100 ~ 3000Lx (1Lx 刻み)
基準調光率	0.0 ~ 100.0% (0.5% 刻み)
照度センサゲイン	自動 / レベル 1 ~ 4 (手動)
基準照度時 A/D 値	0 ~ 1023
照度センサ入切	切 / 入
目標照度	100 ~ 3000 Lx (1Lx 刻み)
目標調光率	0.0 ~ 100.0% (0.5% 刻み)
上限調光率	0.0 ~ 100.0% (0.5% 刻み)
下限調光率	0.0 ~ 100.0% (0.5% 刻み)
昼光補正值	0 ~ 100% (1% 刻み)
照度判定閾値	1Lx ~ 200Lx (1Lx 刻み)
照度値通報変化量	0Lx ~ 2900Lx (1Lx 刻み)
照度値通報間隔時間	0 秒 ~ 179 秒 (1 秒刻み)、 3 分 ~ 78 分 (1 分刻み)
人感センサ入切	切 / 入
人感センサモード	通常 / 残置
不在調光率	0.0 ~ 100.0% (0.5% 刻み)
保持時間	0 秒 ~ 179 秒 (1 秒刻み)、 3 分 ~ 78 分 (1 分刻み)
在フェード時間	0 秒 ~ 179 秒 (1 秒刻み)、 3 分 ~ 78 分 (1 分刻み)
不在フェード時間	0 秒 ~ 179 秒 (1 秒刻み)、 3 分 ~ 78 分 (1 分刻み)
人感オフディレイ時間	0 秒 ~ 179 秒 (1 秒刻み)、 3 分 ~ 78 分 (1 分刻み)
人感検知クリア時間	10 ~ 2550ms (10ms 刻み)
人感検知条件	時間 10 ~ 2550ms (10ms 刻み) 回数 1 ~ 10 回

設定項目	設定内容または範囲
色温度制御入切	通常モード／色温度モード
目標色温度	2000K～7000K (20K 刻み)
昼白色色温度	4000K～7000K (20K 刻み)
昼白色光束	0～5000lm (1lm 刻み)
電球色色温度	2000K～4000K (20K 刻み)
電球色光束	0～5000lm (1lm 刻み)
初期照度補正制御入切	切／入
光源積算時間	0～65279 時間
光束維持率	0.0～100.0% (0.5% 刻み)
光源寿命時間	0～65279 時間
光源基準電力	0.0W～5000.0W (0.1W 刻み)

# 11.照度センサ設定

照度センサの動作に関する各種設定を行います。

メニューから「照度センサ設定」を選択すると照度センサ設定画面を表示します。

## 11.1.照度センサの設定の手順

■照度センサは以下の2項目を設定すればご使用になれます。

- 1.ネットワークアドレス
- 2.基準照度

### 照度センサ設定 (1/3ページ)

照度センサ設定

▶一括読み込み

ネットワークアドレス 000-1

現在照度値 Lx

形名

バージョン Ver.\*\*.\*\*.\*\*

▲▼ (1/3)

#### ●一括読み込み (必要に応じて)

照度センサの設定値を本機に読み込みます。照度センサの設定内容を確認する場合や、複数の照度センサに同じ設定をする場合使用します。

※読み込んだ設定値の送信は各項目で行ってください。

照度センサ設定の全項目を確認する場合や他の照度センサから設定を移す場合に照度センサから一括で本機に読み込みます。

照度センサに赤外線通信部を向けて(受信) ボタンを押します。赤外線を送受信中は、📶 アイコンが十数秒間点滅表示が続くので本機を照度センサにむけたままにします。

#### ●ネットワークアドレス

ネットワークアドレスを設定します。照明コントローラで制御するため、アドレスとチャンネルを登録します。

※1台の照明コントローラには画像センサを含め同じアドレスを複数設定しないでください。

⏏️ ⏪ ボタンで「ネットワークアドレス」にカーソル▶を合わせ(決定) ボタンを押すと入力画面が開きます。

⏏️ ⏪ ボタンで「001」などのアドレス番号を変更後、⏏️ ボタンを押してチャンネルの設定へ移ります。

⏏️ ⏪ ボタンで「1」などのチャンネル番号を変更後、(決定) ボタンを押して確定します。

確定後、照度センサに赤外線通信部を向けて(送信) ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

照度センサ設定

▶一括読み込み

ネットワークアドレス  
\_\_\_\_\_ 000-1

現在照度値  
\_\_\_\_\_ Lx

形名  
\_\_\_\_\_

バージョン  
Ver.\*\*.\*\*.\*\*

▲▼ (1/3)

### ●現在照度値

照度推定値を受信して表示します。

⊕ ⊖ ボタンで「現在照度値」にカーソル ▶ を合わせ (受信) ボタンを押します。赤外線通信中は 電波 アイコンが表示されます。

### ●形名

照度センサの形名を受信して表示できます。

### ●バージョン

照度センサのソフトウェアバージョンを確認できます。

※「現在照度値」「形名」「バージョン」は赤外線通信で受信して表示するのみです。確認手順は「11.2.照度センサ設定画面におけるデータ確認手順」を参照してください。

## 照度センサ設定 (2/3ページ)

照度センサ設定

▶基準照度

\_\_\_\_\_ 700Lx

照度センサゲイン  
\_\_\_\_\_ 自動

基準照度時A/D値  
\_\_\_\_\_ 0

▲▼ (2/3)

### ●基準照度

照度センサの感度を設定します。

照度を一定に制御する基準とするため、照明器具の調光率を100%で点灯して検知範囲の中央付近の机上面照度を測定します。測定した値を以下の手順で「基準照度」に入力します。

⊕ ⊖ ボタンで「基準照度」にカーソル ▶ を合わせ、

(決定) ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「750Lx」などの値を選択し、

(決定) ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、照度センサに赤外線通信部を向けて (送信) ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線通信中は、電波 アイコンが表示されます。

### ●照度センサゲイン

照度センサのゲインを設定します。通常は変更しません。

通常は明るさにより照度センサのゲインがレベル1~4で自動で切り替わります。固定すると照度検知範囲、精度が悪くなる場合があります。

⊕ ⊖ ボタンで「照度センサゲイン」にカーソル ▶ を合わせ、

(決定) ボタンを押すと入力画面が開きます。

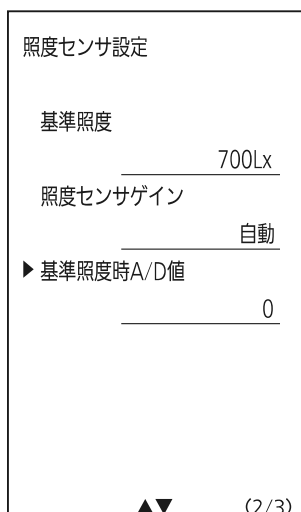
⊕ ⊖ ボタンで「自動」などの値を選択し、

(決定) ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、照度センサに赤外線通信部を向けて (送信) ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線通信中は、電波 アイコンが表示されます。

※基本は自動を設定してください。





### ●基準照度時A/D値

基準照度のA/D値(センサ値)を設定します。通常は変更しません。基準照度設定でA/D値は決まりますが、変更することで基準照度でのセンサ値を変えることができます。

ボタンで「基準照度時A/D値」にカーソル▶を合わせ、

ボタンを押すと入力画面が開きます。

ボタンで「100」などの値を選択し、

ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、照度センサに赤外線通信部を向けて ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、 アイコンが表示されます。

## 照度センサ設定 (3/3ページ)

### ●サービスコード

サービスコードを確認する場合に使用します。

保守用のため、通常は使用しません。

## 11.2.照度センサ設定におけるデータ確認手順

(1) 受信したい項目にカーソルを合わせた後、照度センサに赤外線通信部を向けて、 を押すと、選択した項目のデータを受信して表示します。

赤外線を送受信中は、 アイコンが表示されます。

## 11.3.照度センサ設定におけるデータ設定内容

設定項目	設定内容または範囲
ネットワークアドレス (アドレス)	0 ~ 63
ネットワークアドレス (チャンネル)	1 ~ 4
基準照度値	100 ~ 3000Lx (1Lx 刻み)
照度センサゲイン	自動 / レベル 1 ~ 4 (手動)
基準照度時 A/D 値	0 ~ 1023

## 12.人感センサ設定

人感センサの動作に関する各種を設定します。

メニューから「人感センサ設定」を選択すると人感センサ設定画面を表示します。

### 12.1.人感センサの設定の手順

■人感センサは以下の1項目を設定すればご使用になれます。

#### 1.ネットワークアドレス

#### 人感センサ設定（1/3ページ）

人感センサ設定	
一括読み込み	
▶ネットワークアドレス	000-1
人感状態	
形名	
バージョン	Ver.**.**.**
▲▼ (1/3)	

#### ●一括読み込み（必要に応じて）

人感センサの設定値を本機に読み込みます。人感センサの設定内容を確認する場合や、複数の人感センサに同じ設定をする場合に使用します。

※読み込んだ設定値の送信は各項目で行ってください。

人感センサに赤外線通信部を向けて(受信) ボタンを押します。赤外線を送受信中は、📶 アイコンが十数秒間点滅表示が続くので本機を人感センサにむけたままにします。

#### ●ネットワークアドレス

ネットワークアドレスを設定します。照明コントローラで制御するため、アドレスとチャンネルを登録します。

※1台の照明コントローラには画像センサを含め同じアドレスを複数設定しないでください。

(+) (戻る) ボタンで「ネットワークアドレス」にカーソル▶を合わせ(決定) ボタンを押すと入力画面が開きます。

(+) (戻る) ボタンで「001」などのアドレス番号を変更後、(+) ボタンを押してチャンネルの設定へ移ります。

(+) (戻る) ボタンで「1」などのチャンネル番号を変更後、(決定) ボタンを押して確定します。

確定後、人感センサに赤外線通信部を向けて(送信) ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ●人感状態

人検知の状態を受信して表示できます。

⊕ ⊖ ボタンで「人感状態」にカーソル▶を合わせ、  
Ⓜ ボタンを押します。

赤外線を受信中は、📶アイコンが表示されます。

各チャンネル毎の人感状態（在／不在）が表示されます。

在：人検出状態、不在：人未検出状態

### ●形名

人感センサの形名を受信して表示できます。

### ●バージョン

人感センサのソフトウェアバージョンを受信して表示できます。

## 人感センサ設定（2/3ページ）

人感センサ設定	
▶ 保持時間	5分
人感検知クリア時間	2000ms
人感検知条件	350ms 3回
人感センサ照度検知	切
▲▼ (2/3)	

### ●保持時間

不在状態になってから【不在】になるまでの時間を変更できます。

⊕ ⊖ ボタンで「保持時間」にカーソル▶を合わせ、  
Ⓜ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「5分」などの値を選択し、  
Ⓜ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、人感センサに赤外線通信部を向けてⓂ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、📶アイコンが表示されます。

### ●人感検知クリア時間

人感センサの検出条件を変更します。通常は変更しません。

※ノイズによる人感センサの誤動作を防止する設定です。

時間の値を大きくすると誤動作は起きにくくなるが、センサの反応が遅くなります。

⊕ ⊖ ボタンで「人感検知クリア時間」にカーソル▶を合わせ、  
Ⓜ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「500ms」などの値を選択し、  
Ⓜ ボタンを押して確定します。

確定後、人感センサに赤外線通信部を向けてⓂ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、📶アイコンが表示されます。

人感センサ設定	
保持時間	5分
人感検知クリア時間	2000ms
▶人感検知条件	350ms 3回
人感センサ照度検知	切
▲▼ (2/3)	

## ●人感検知条件

人感センサの検出条件を変更します。通常は変更しません。

※ノイズによる人感センサの誤動作を防止する設定です。

時間や回数の値を大きくすると誤動作は起きにくくなるが、センサの反応が遅くなります。

△+▽ボタンで「人感検知条件」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢボタンを押すと入力画面が開きます。

カーソル▲▼が時間に合っているか確認した後、△+▽ボタンで「100ms」などの値を選択します。

⏪ボタンでカーソル▲▼を回数に合わせた後、△+▽ボタンで「3回」などの値を選択します。

Ⓢボタンを押すと入力画面が閉じて値が確定します。

確定後、人感センサに赤外線通信部を向けてⓉボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶アイコンが表示されます。

## ●人感センサ照度検知

明るいときに人感センサが検知しても点灯しないように設定できます。設定した明るさより明るい場合は人感センサが検知しても

【在】になりません。

△+▽ボタンで「人感センサ照度検知」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢボタンを押すと入力画面が開きます。

△+▽ボタンで「切」や「50Lx」などの値を選択後、

Ⓢボタンを押して確定します。

確定後、人感センサに赤外線通信部を向けてⓉボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶アイコンが表示されます。



## 人感センサ設定 (3/3ページ)

### ●サービスコード

サービスコードを確認する場合に使用します。

保守用のため、通常は使用しません。

## 12.2.人感センサ設定におけるデータ確認手順

- (1) 受信したい項目にカーソルを合わせた後、人感センサに赤外線通信部を向けて、を押すと、  
選択した項目のデータを受信して表示します。赤外線を送受信中は、アイコンが表示されます。

## 12.3.人感センサ設定における設定内容・範囲

設定項目	設定内容または範囲
ネットワークアドレス (アドレス)	0 ~ 63
ネットワークアドレス (チャンネル)	1 ~ 4
保持時間	0 秒 ~ 179 秒 (1 秒刻み)、 3 分 ~ 78 分 (1 分刻み)
人感検知クリア時間	10 ~ 2550ms (10ms 刻み)
人感検知条件	10 ~ 2550ms (10ms 刻み) 1 ~ 10 回
人感センサ照度検知	切 / 1 ~ 5000Lx (1Lx 刻み)

## 13.画像センサ設定

画像センサの動作に関する各種を設定します。

メニューから「画像センサ設定」を選択すると画像センサ設定画面を表示します。

■画像センサは以下の6項目を設定すればご使用になれます。

- 1.照度センサ入切 (5/13)
- 2.移動入切 (7/13)
- 3.ネットワークアドレス (1/13)
- 4.設置高 (6/13)
- 5.基準照度 (4/13)
- 6.照度センサゲイン (12/13)

### 13.1.画像センサの設定の手順

#### 画像センサ設定 (1/13ページ)

画像センサ設定

▶一括読み込み

ネットワークアドレス \_\_\_\_\_ 000

人感状態

CH1: \_\_\_\_\_

CH2: \_\_\_\_\_

CH3: \_\_\_\_\_

CH4: \_\_\_\_\_

▲▼ (1/13)

#### ●一括読み込み (必要に応じて)

画像センサの設定値を本機に読み込みます。画像センサの設定内容を確認する場合や、複数の画像センサに同じ設定をする場合に使用します。

※読み込んだ設定値の送信は各項目で行ってください。

画像センサに赤外線通信部を向けて(受信) ボタンを押します。赤外線を送受信中は、📶 アイコンが数十秒間点滅表示が続くので本機を画像センサにむけたままにします。

#### ●ネットワークアドレス

ネットワークアドレスを設定します。照明コントローラで制御するため、アドレスを登録します。チャンネルは1~4に自動で割り付けられます。

※画像センサは照度センサ、人感センサと同じアドレス空間を使用しているため、1台の照明コントローラには照度センサ、人感センサを含め同じアドレスを複数設定しないでください。

⊕ ⊖ ボタンで「ネットワークアドレス」にカーソル▶を合わせ(決定) ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「001」などのアドレス番号を変更後、(決定) ボタンを押して確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けて(送信) ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、📶 アイコンが表示されます。画像センサは1台で4つのチャンネルを使用します。チャンネル1~4は自動で割付けられます。

### ●人感状態

人検知の状態をチャンネルごとに受信して表示できます。

1～4CHそれぞれの人検知状態が表示されます。

△+ ▽- ボタンで「人感状態」にカーソル▶を合わせ、

受信 ボタンを押します。

赤外線を受信中は、📶アイコンが表示されます。

各チャンネル毎の人感状態（在／不在／移動）が表示されます。

【在】：人検出状態、【不在】：人未検出状態、【移動】：人移動検出状態

## 画像センサ設定（2/13ページ）

画像センサ設定	
▶ 現在照度値	
CH1:	_____ Lx
CH2:	_____ Lx
CH3:	_____ Lx
CH4:	_____ Lx
故障状態	
形名	_____
	_____
▲▼ (2/13)	

### ●現在照度値

照度推定値をチャンネルごとに受信して表示できます。

△+ ▽- ボタンで「現在照度値」にカーソル▶を合わせ、

受信 ボタンを押します。

赤外線を受信中は、📶アイコンが表示されます。

各チャンネル毎の照度が表示されます。

### ●故障状態

画像センサの故障状態を受信して表示できます。

△+ ▽- ボタンで「故障状態」にカーソル▶を合わせ、

受信 ボタンを押します。

赤外線を受信中は、📶アイコンが表示されます。

画像センサの故障状態が表示されます。

### ●形名

画像センサの形名を受信して表示できます。

△+ ▽- ボタンで「形名」にカーソル▶を合わせ、

受信 ボタンを押します。

赤外線を受信中は、📶アイコンが表示されます。

画像センサの形名が表示されます。

## 画像センサ設定 (3/13ページ)

画像センサ設定	
▶バージョン	
RL:	Ver.00.00.00
RZ:	Ver.00.00.00
▲▼ (3/13)	

### ●バージョン情報

画像センサのソフトウェアバージョンを受信して表示できます。

⊕ ⊖ ボタンで「バージョン情報」にカーソル▶を合わせ、  
Ⓜ ボタンを押します。

赤外線を受信中は、📶アイコンが表示されます。

画像センサのバージョン情報が表示されます。

## 画像センサ設定 (4/13ページ)

画像センサ設定	
▶保持時間	
CH1:	5分
CH2:	5分
CH3:	5分
CH4:	5分
基準照度	
CH1:	1000Lx
CH2:	1000Lx
CH3:	1000Lx
CH4:	1000Lx
▲▼ (4/13)	

### ●保持時間

センサが不在状態になってから【不在】になるまでの時間を変更できます。

⊕ ⊖ ボタンで「保持時間」の各チャンネルにカーソル▶を合わせ、  
Ⓜ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「5分」などの値を選択し、

Ⓜ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けてⓂ ボタンを

押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、📶アイコンが  
表示されます。

### ●基準照度

照度推定の感度をエリア（チャンネル）ごとに設定します。照度を一定に制御する基準とするため、照明器具の調光率を100%で点灯して検知範囲の中央付近の机上面照度を測定します。測定した値を以下の手順で「基準照度」に入力します。

⊕ ⊖ ボタンで「基準照度」の各チャンネルにカーソル▶を合わせ、  
Ⓜ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「700Lx」などの値を選択し、

Ⓜ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けてⓂ ボタンを

押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、📶アイコンが  
表示されます。



## 画像センサ設定 (5/13ページ)

画像センサ設定	
▶ 静止物判定時間	5分
子機割付	割付なし
子機検知クリア時間	200ms
子機検知条件	350ms 3回
照度センサ入切	切
▲▼ (5/13)	

### ● 静止物判定時間

動いているもの（人）が静止してから【不在】になるまでの時間を変更できます。

△+ ▽ ボタンで「静止判定時間」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

△+ ▽ ボタンで「5分」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けてⓈ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶アイコンが表示されます。

### ● 子機割付

人感センサ子機をエリア（チャンネル）に割当てます。人感センサ子機は8台まで接続できますが、一つの回路として扱われます。人感センサ子機は画像センサの1つもしくは複数のチャンネルに割り当てることができます。

△+ ▽ ボタンで「子機割付」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

◀ + ボタンで子機を割付けたいチャンネルを選択し △+ ▽ ボタンで割付けたい場合は「あり」、解除したい場合は「なし」を選択し、

Ⓢ を押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けてⓈ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶アイコンが表示されます。

### ● 子機検知クリア時間

人感センサ子機の検出条件を変更します。通常は変更しません。

※ノイズによる人感センサの誤動作を防止する設定です。

時間の値を大きくすると誤動作は起きにくくなるが、センサの反応が遅くなります。

△+ ▽ ボタンで「子機検知クリア時間」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

△+ ▽ ボタンで「200ms」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けてⓈ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶アイコンが表示されます。

画像センサ設定	
静止物判定時間	5分
子機割付	割付なし
子機検知クリア時間	200ms
▶子機検知条件	350ms 3回
照度センサ入切	切
▲▼ (5/13)	

### ●子機検知条件

人感センサ子機の検出条件を変更します。通常は変更しません。

※ノイズによる人感センサの誤動作を防止する設定です。

時間や回数の値を大きくすると誤動作は起きにくくなるが、センサの反応が遅くなります。

⊕ ⊖ ボタンで「子機検知条件」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

カーソル▲▼が時間に合っているか確認した後、⊕ ⊖ ボタンで「100ms」などの値を選択します。

⊖ ⊕ ボタンでカーソル▲▼を回数に合わせた後、⊕ ⊖ ボタンで「3回」などの値を選択します。

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が閉じて値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを

押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ●照度センサ入切

照度センサ機能を入切します。「切」にすると照度センサ機能は無効になります。

⊕ ⊖ ボタンで「照度センサ入切」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「入」 / 「切」の値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを

押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。「入」にすると照明コントローラの照度入切をデータ設定器で設定して使用できます。

※「入」にした場合は、データ設定器で照明コントローラの照度センサ入切を「入」に設定してください。

## 画像センサ設定 (6/13ページ)

画像センサ設定	
▶設置高	2.5m
画像シフト	
X方向:	0cm
Y方向:	0cm
検知エリアサイズ	7.2m
▲▼ (6/13)	

### ●設置高

画像センサを取り付ける天井の高さを設定します。床面から天井までの高さを設定してください。

⊕ ⊖ ボタンで「設置高」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「2.5m」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを

押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

## ●画像シフト

画像センサと制御範囲中心がずれている場合に設定します。  
制御範囲の中心から画像センサの位置を指定します。

⊕ ▽ ボタンで「画像シフト」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

◀ ⊕ ボタンで「X方向」か「Y方向」を選択してから、

⊕ ▽ ボタンで数値を選択します。

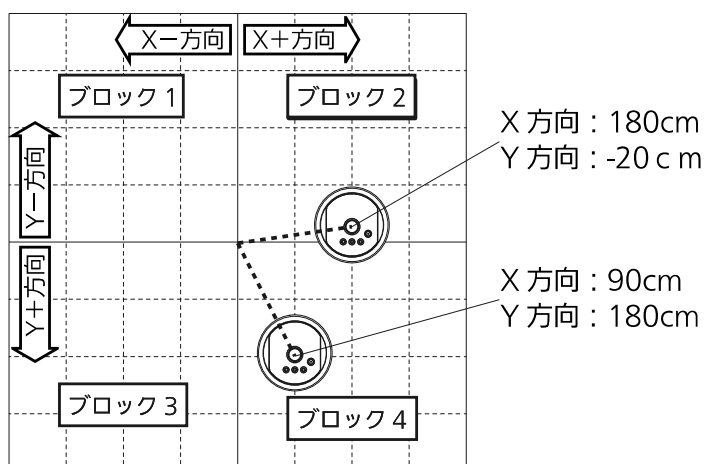
Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

## ■画像シフトについて（検知エリアサイズ7.2mの場合）

検知エリア中心に対して本機のずれている距離を入力します。

※天井から見た図になります。



## ●検知エリアサイズ

制御するエリアサイズを設定します。床から0.7mの検知エリア（正方形）を一辺の長さで設定します。

⊕ ▽ ボタンで「検知エリアサイズ」にカーソル▶を合わせ、

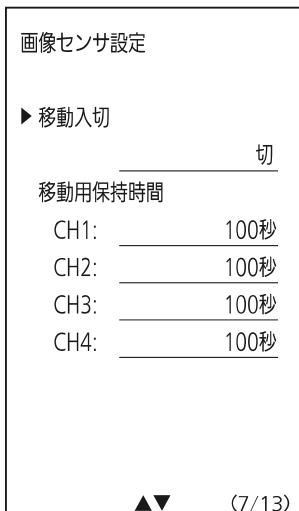
Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ▽ ボタンで「7.2m」などの値を選択し、

Ⓢ ボタンを押すと値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

## 画像センサ設定 (7/13ページ)



### ●移動入切

人移動検出の入切を設定します。「切」にした場合、【在】、【不在】のみの状態になります。移動は【在】として扱われます。

ボタンで「移動入切」にカーソル▶を合わせ、

ボタンを押すと入力画面が開きます。

ボタンで「入」／「切」の値を選択し、

ボタンを押して入力画面を閉じると値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けて ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、 アイコンが表示されます。

### ●移動用保持時間

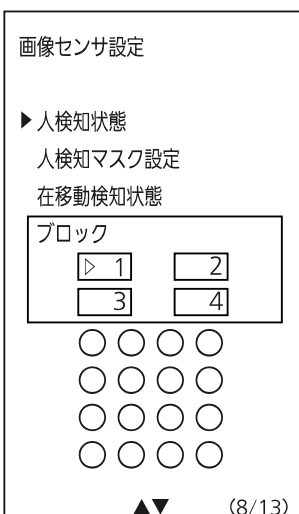
移動用保持時間を設定します。移動している人がいなくなってから【不在】になるまでの時間を設定できます。

ボタンで「移動用保持時間」の各チャンネルにカーソルを合わせ、 ボタンを押すと入力画面が開きます。

ボタンで「10秒」などの値を選択し、 ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けて ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、 アイコンが表示されます。

## 画像センサ設定 (8/13ページ)



### ●人検知状態

人検知の状態をブロックごとに受信して表示できます。確認したいブロックを ボタンで選択し、 ボタンでポイントごとの状態が本機に表示されます。

ボタンで「人検知状態」にカーソル▶を合わせ、

ボタンを押します。


赤外線を受信中は、 アイコンが表示されます。


画像センサの人検知状態が表示されます。表示したいブロックは ボタンにて切替えて表示してください。

○：人未検出、●：人検出






## ●人検知マスク設定

ポイントごとに人検知をマスクすることができます。検知エリアの中で制御範囲から外れる部分、検知したくない場所がある場合、そのポイントをマスクしてください。


  ボタンで「人検知マスク設定」にカーソル▶を合わせ、



 ボタンで設定したいブロックにカーソル▶を合わせます。

 ボタンを押すと入力画面が開きます。


  ボタンと   ボタンでマスクを設定したいポイントの位置を移動し  ボタンを押して




○：マスク無し／●：マスク有りを切替えます。


 ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けて  ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、 アイコンが表示されます。


## ●在移動検知状態

人検知の状態をブロックごとに受信して表示できます。確認したいブロックを  ボタンで選択し、ポイントごとの状態が本機に表示されます。

  ボタンで「在移動検知状態」にカーソル▶を合わせ、画像センサに赤外線通信部を向けて  ボタンを押します。

赤外線を受信中は、 アイコンが表示されます。

ブロックごとの在移動検知状態が表示されます。

表示したいブロックは  ボタンを押して切り替えて、表示してください。

○：人未検出 ●：人検出 ◎：人移動検出

## 画像センサ設定 (9/13ページ)

画像センサ設定			
▶ 滞在判定時間 (一括)			
0.0秒			
滞在判定時間 (個別)			
ブロック			
▶ 1	2		
3	4		
0.0	0.0	0.0	0.0 秒
0.0	0.0	0.0	0.0 秒
0.0	0.0	0.0	0.0 秒
0.0	0.0	0.0	0.0 秒
▲▼ (9/13)			

### ● 滞在判定時間 (一括)

滞在判定時間を全ブロック一括で設定します。同じポイントで移動を続けた場合、【移動】から【在】になります。【在】になるまでの時間を変更できます。

⊕ ⊖ ボタンで「滞在判定時間 (一括)」にカーソル▶を合わせ

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「3.0秒」などの値を選択します。

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が閉じて値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けてⓉ ボタンを

押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

### ● 滞在判定時間 (個別)

滞在判定時間をポイントごとに設定します。

⊕ ⊖ ボタンで「滞在判定時間 (個別)」にカーソル▶を合わせ

Ⓢ ボタンで設定したいブロックにカーソル▶を合わせます。

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンと⏪ ⏩ ボタンで時間を設定したいエリアの位置に移動し

Ⓢ ボタンを押すと「滞在判定時間」の入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「3.0秒」などの値を選択します。

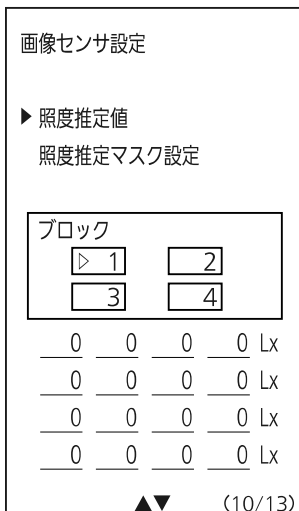
Ⓢ ボタンを押すと入力画面が閉じて、「滞在判定時間」の値が確定します。

⏪ ボタンを押すと「エリア別滞在判定時間」の入力画面が閉じます。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けてⓉ ボタンを

押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

## 画像センサ設定 (10/13ページ)



### ●照度推定値

照度推定値をブロックごとに受信して表示できます。確認したいブロックを切替ボタンで選択し、**(決定)** ボタンでポイントごとの状態が本機に表示されます。

**(+) (-)** ボタンで「照度推定値」にカーソル▶を合わせ、

**(受信)** ボタンを押すと赤外線を送信中は

📶 アイコンが表示されます。画像センサの照度推定値が表示されます。表示したいブロックは**(切替)** ボタンにて切替えて表示してください。

### ●照度推定マスク設定

ポイントごとに照度推定をマスクすることができます。検知エリアの中で制御範囲から外れる部分、検知したくない場所がある場合、そのポイントをマスクしてください。

**(+) (-)** ボタンで「照度推定マスク設定」にカーソル▶を合わせ、

**(切替)** ボタンで設定したいブロックにカーソル▶を合わせます。

**(決定)** ボタンを押すと入力画面が開きます。

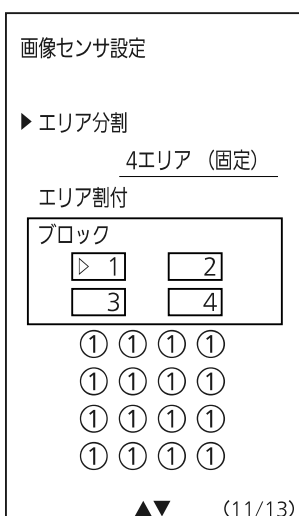
**(+) (-)** ボタンと**(←) (→)** ボタンでマスクを設定したいポイントの位置を移動し**(切替)** ボタンを押して

○：マスク無し／●：マスク有りを切替えます。

**(決定)** ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けて**(送信)** ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。

## 画像センサ設定 (11/13ページ)



### ●エリア分割

検知エリアのチャンネル割付けを変更できます。

4エリア (固定)：1～4のブロックを各エリア (チャンネル) に割付けます。

4エリア (任意)：各ポイントを任意のエリア (チャンネル) に割付けできます。割当ては「エリア割付」で行います。

1エリア：4つのブロックを1つのエリア (チャンネル) に割付けます。

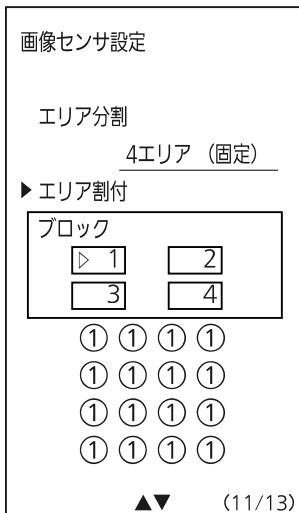
**(+) (-)** ボタンで「エリア分割」にカーソル▶を合わせ、

**(決定)** ボタンを押すと入力画面が開きます。

**(+) (-)** ボタンで「4エリア (固定)」／「4エリア (任意)」／「1エリア」のいずれかを選択し

**(決定)** ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、画像センサに赤外線通信部を向けて**(送信)** ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶 アイコンが表示されます。



### ●エリア割付

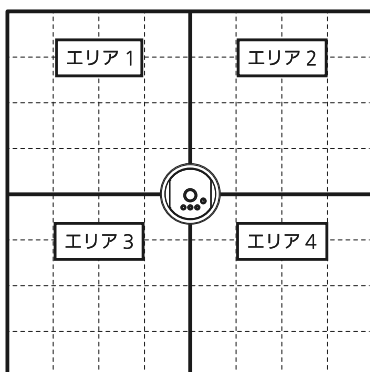
各ブロック内のポイントにチャンネル①～④を任意に割付けることでエリアを変更することができます。

- ⊕ ⊖ ボタンで「エリア割付」にカーソル▶を合わせ、
- Ⓢ ボタンで設定しいブロックにカーソルを合わせます。
- Ⓣ ボタンを押すと入力画面が開きます。
- ⊕ ⊖ ボタンと ◀ ▶ ボタンでポイントの位置を移動し、
- Ⓢ ボタンを押して①～④を選択します。
- Ⓣ ボタンを押すと入力画面が閉じ値が確定します。

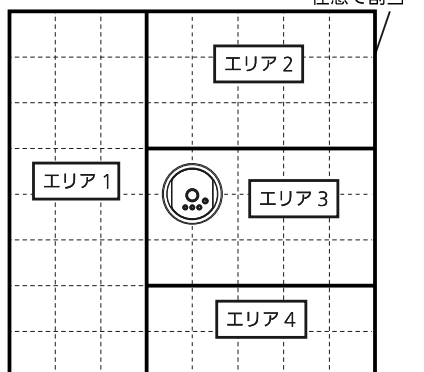
確定後、画像センサに赤外線通信部を向けて(送信)ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶アイコンが表示されます。

※本設定はエリア分割が「4エリア（任意）」の場合のみ有効となります。

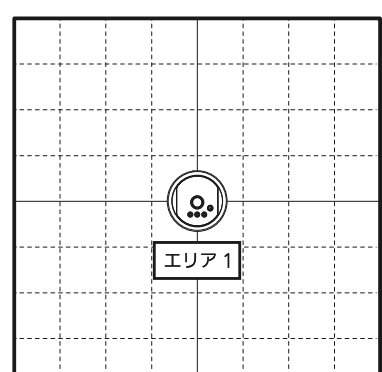
#### ■4エリア（固定）のチャンネル



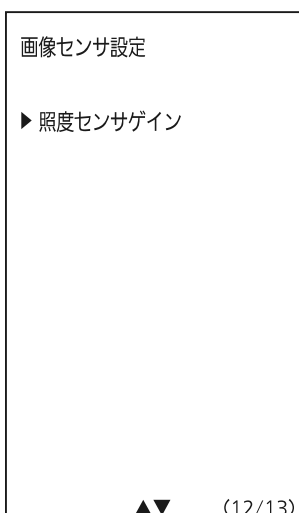
#### ■4エリア（任意）の設定例



#### ■1エリアのチャンネル



### 画像センサ設定（12/13ページ）



### ●照度センサゲイン

基準画像を更新することができます。

センサのデータにて基準画像からの差分により人検知を行うため、設置時などの場合は、本内容で基準画像を更新してください。

- ⊕ ⊖ ボタンで「照度センサゲイン」にカーソル▶を合わせ、
- 画像センサに赤外線通信部を向けて(送信)ボタンを押します。
- 赤外線を送信中は、📶アイコンが表示されます。





## 画像センサ設定（13/13ページ）

### ●サービスコード

サービスコードを確認する場合に使用します。

保守用のため、通常は使用しません。

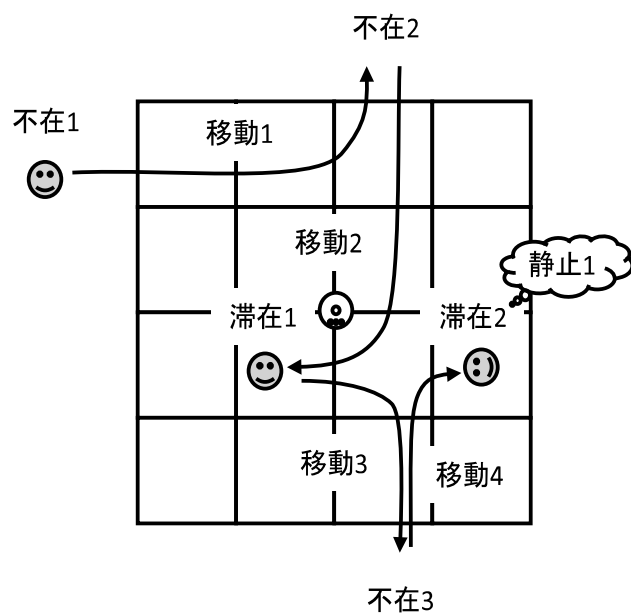
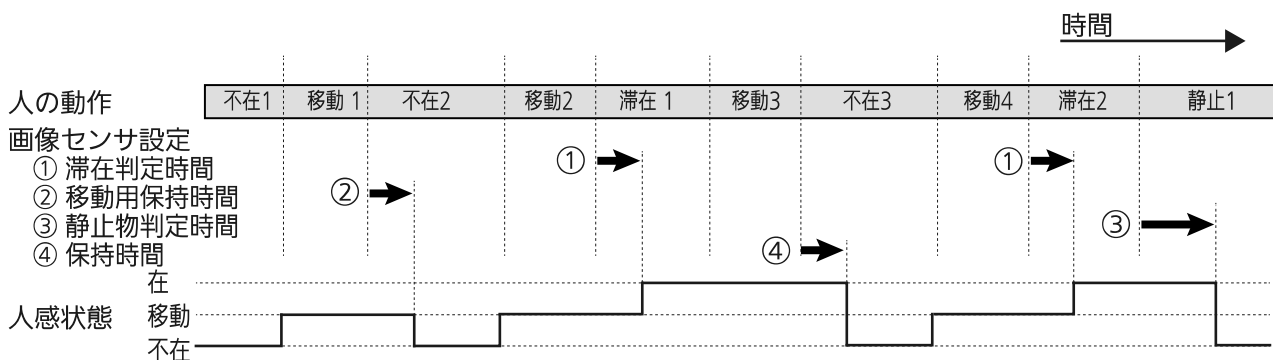
## 13.2.画像センサ設定におけるデータ確認手順

(1) 受信したい項目にカーソルを合わせた後、画像センサに赤外線通信部を向けて、 を押すと、選択した項目のデータを受信して表示します。赤外線を送受信中は、 アイコンが表示されます。

## 13.3.画像センサ設定における設定内容・範囲

設定項目	設定内容または範囲
ネットワークアドレス（アドレス）	0～63
保持時間	0秒～179秒（1秒刻み）、 3分～78分（1分刻み）
基準照度	100～3000Lx（1Lx刻み）
静止物判定時間	1秒～59秒（1秒刻み）、 1分～60分（1分刻み）
子機割付	CH1、CH2、CH3、CH4、 それぞれにあり／なし
子機検知クリア時間	10～2550ms（10ms刻み）
子機検知条件	10～2550ms（10ms刻み）、1～10回
照度センサ入切	切／入
設置高	2.5～5.0m（0.1m刻み）
画像シフト	X：-200～200cm（1cm刻み） Y：-200～200cm（1cm刻み）
検知エリアサイズ	6.4m/7.2m
移動入切	切／入
移動用保持時間	0秒～179秒（1秒刻み）、 3分～78分（1分刻み）
滞在判定時間（一括）	0.0～10.0秒（0.2秒刻み）
滞在判定時間（個別）	0.0～10.0秒（0.2秒刻み）
エリア分割	4エリア（固定） ／4エリア（任意） ／1エリア エリア×3個
エリア割付	エリア①～エリア④

### 13.4.動作例



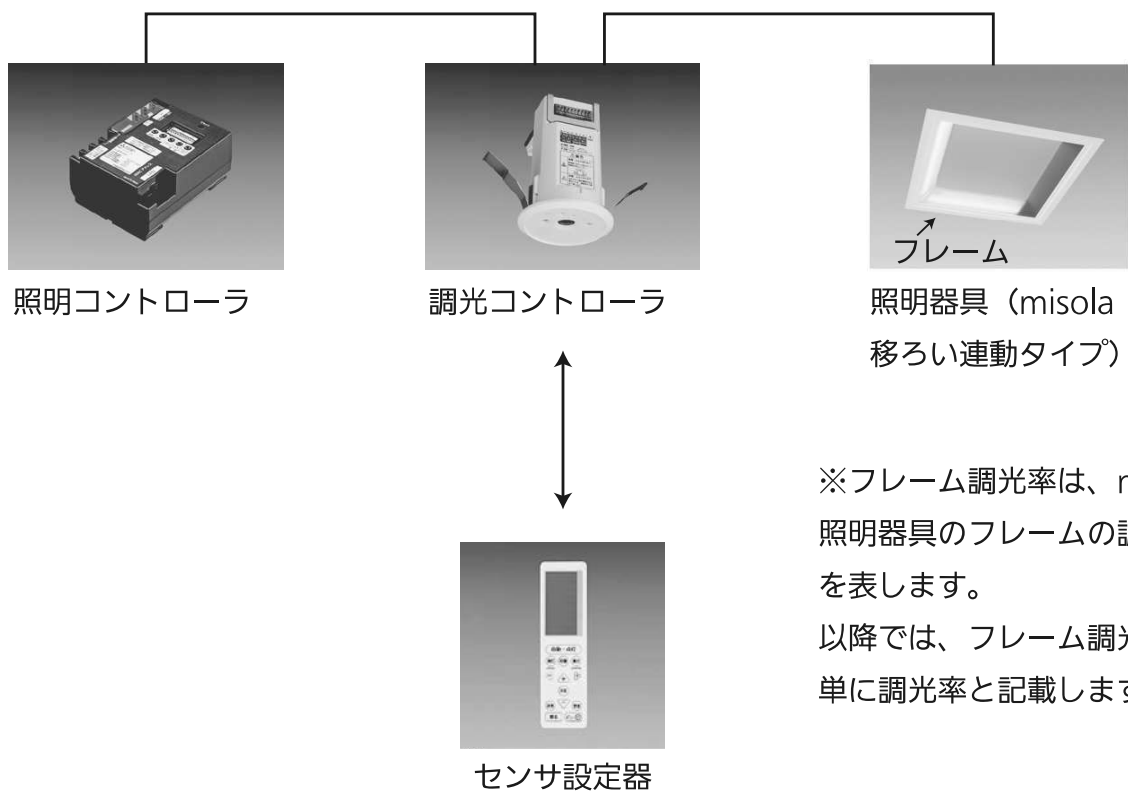
# 14.misola設定

調光コントローラで、misola移ろい連動タイプの照明器具を制御する場合の設定をします。  
misola対応の調光コントローラ及び、misola移ろい連動タイプの照明器具が必要です。

## 14.1.misola 制御について

misola 対応の調光コントローラを misola 仕様（misola モード）に切り替えることで misola 移ろい連動タイプの照明器具に対して操作・設定を行うことができます。調光コントローラの仕様への切り替え方法は「14.2 misola 仕様（misola モード）の設定手順」を参照してください。以降、調光コントローラと記載している場合は misola 仕様（misola モード）の調光コントローラを表します。

### ■misola制御システム構成（MILCO.NET）



## 14.2.misola仕様（misolaモード）の設定手順

■misola移ろい連動タイプの照明器具を制御する場合、調光コントローラに以下の2項目を設定することで、ご使用いただけます。

- 1.misolaモード (1/2)
- 2.ネットワークアドレス (1/2)

### misola設定（1/2ページ）

misola設定

▶一括読み込み

ネットワークアドレス 000-1

misolaモード\* 標準

形名 MN3801

バージョン Ver.\*\*.\*\*.\*\*

▲▼ (1/2)

#### ●一括読み込み

調光コントローラの設定値を本機に読み込みます。

調光コントローラの設定内容を確認する場合や、複数の調光コントローラに同じ設定内容を設定する場合に使用します。

※読み込んだ設定値の送信は各項目で行ってください。

調光コントローラに赤外線通信部を向けて(受信) ボタンを押します

※赤外線の受信中は、Wi-Fi アイコンの点滅表示が数十秒間続くので、本機を調光コントローラに向けたままにします。

misola設定

一括読み込み

ネットワークアドレス

000 - 1

MN3801

バージョン Ver.00.00.00

▲▼ (1/2)

#### ●ネットワークアドレス

ネットワークアドレスを設定します。

照明コントローラで制御するため、アドレスとチャンネルを登録します。

※1台の照明コントローラに対して同じアドレスの調光コントローラを複数設定しないでください。

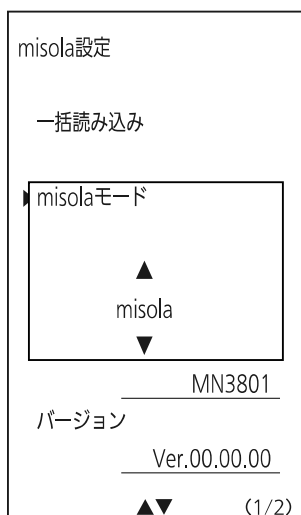
(+) (戻る) ボタンで「ネットワークアドレス」にカーソル▶を合わせ

(決定) ボタンを押すと入力画面が開きます。

(+) (戻る) ボタンで「001」などのアドレス番号を変更後、(+) ボタンを押してチャンネルの変更へ移ります。

(+) (戻る) ボタンで「1」などのチャンネル番号を変更後、(決定) ボタンを押して設定の変更を確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて(送信) ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、Wi-Fi アイコンが表示されます。



### ●misolaモード

調光コントローラで制御する照明器具の種類を変更する場合に設定します。PWM調光照明器具やPWM（1線式）色温度器具を制御する標準仕様でご使用の場合は「標準」、misola移ろい連動タイプの照明器具を制御するmisola仕様でご使用の場合は「misola」に設定します。

⊕ ⊖ ボタンで「misolaモード」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「標準」「misola」を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、📶アイコンが表示されます。

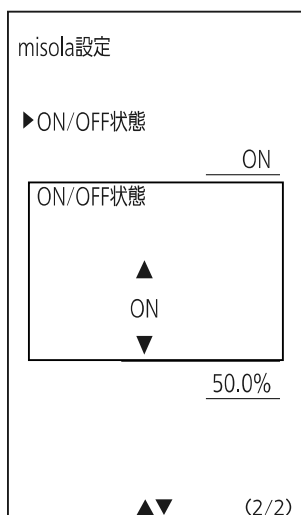
### ●形名

調光コントローラの形名を受信して表示します。

### ●バージョン

調光コントローラのソフトウェアバージョンを受信して表示します。

## misola設定（2/2ページ）



### ●ON/OFF状態

misola移ろい連動タイプの照明器具のON/OFF状態を制御するため、調光コントローラのON/OFF状態を設定します。

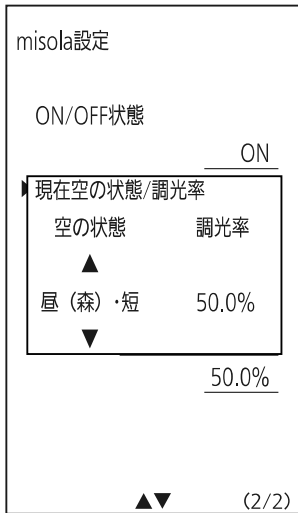
⊕ ⊖ ボタンで「ON/OFF状態」にカーソル▶を合わせ、

Ⓢ ボタンを押すと入力画面が開きます。

⊕ ⊖ ボタンで「ON」「OFF」を選択し、

Ⓢ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて Ⓣ ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、📶アイコンが表示されます。



## ●現在空の状態/調光率

調光コントローラでmisola移ろい連動タイプの照明器具を制御している場合に、現在空の状態と調光率を設定します。

⊕ ⊖ ボタンで「現在空の状態/調光率」にカーソル▶を合わせ、

⓪ ボタンを押すと入力画面が開きます。

◀ ▶ ボタンで「現在空の状態」を選択します。

⊕ ⊖ ボタンで「現在空の状態」を「昼(森)・短」などに設定します。

◀ ▶ ボタンで「調光率」を選択します。

⊕ ⊖ ボタンで「50.0%」などの値に設定します。

⓪ ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。

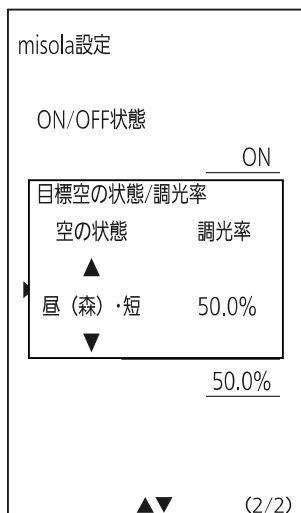
確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて(送信) ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線を送信中は、📶アイコンが表示されます。

※「現在空の状態」の短・中・長は、フェード時間の長さを表します。

「現在空の状態」はフェード時間短のみ設定可能です。

※「現在空の状態」が「朝夕」「日出入」「夜」「全消灯」のとき、「調光率」が固定になります。

◀ ▶ ボタンで「調光率」が選択できない場合があります。



## ●目標空の状態/調光率

調光コントローラでmisola移ろい連動タイプの照明器具を制御している場合に、目標空の状態/調光率を設定します。目標空の状態/調光率は照明器具をONにした時に現在空の状態/調光率に反映されます。

⊕ ⊖ ボタンで「目標空の状態/調光率」にカーソル▶を合わせ、  
 (決定) ボタンを押すと入力画面が開きます。

⏪ ⊕ ボタンで「目標空の状態」を選択します。

⊕ ⊖ ボタンで「目標空の状態」を「昼(森)・短」などに設定します。

⏪ ⊕ ボタンで「調光率」を選択します。

⊕ ⊖ ボタンで「50.0%」などの値に設定します。

(決定) ボタンを押して入力画面を閉じると、値が確定します。



確定後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて(送信) ボタンを押します。確定値が送信され、赤外線の送信中は、📶アイコンが表示されます。

※「目標空の状態」の短・中・長は、フェード時間の長さを表します。

※「目標空の状態」が「朝夕」「日出入」「夜」「全消灯」のとき、「調光率」が固定になります。

⏪ ⊕ ボタンで「調光率」が選択できない場合があります。

### 14.3.misola設定におけるデータ確認手順

- (1) 受信したい項目にカーソルを合わせた後、調光コントローラに赤外線通信部を向けて、 を押すと、選択した項目のデータを受信して表示します。赤外線を受信中は、 アイコンが表示されます。

### 14.4.misola設定における設定内容・範囲

設定項目	設定内容または範囲
ネットワークアドレス (アドレス)	0 ~ 95
ネットワークアドレス (チャンネル)	1 ~ 4
misola モード	標準 / misola
形名	MN3801
ON/OFF 状態	ON/OFF

現在空の状態/フェード/フレーム調光率は以下の組み合わせになります。

(※) フェード中・長は受信時の表示のみ可能。

現在空の状態	フェード	フレーム調光率
昼 (森)	短・(中・長)	5% ~ 100% (0.5% 刻み)
昼 (海)	短・(中・長)	5% ~ 100% (0.5% 刻み)
朝夕	短・(中・長)	100% (固定)
日出入	短・(中・長)	24% (固定)
夜	短	9% (固定)
昼消灯	短	5% ~ 100% (0.5% 刻み)
朝夕消灯	短	5% ~ 100% (0.5% 刻み)
全消灯	短	0% (固定)

目標空の状態/フェード/フレーム調光率は以下の組み合わせになります。

目標空の状態	フェード	フレーム調光率
昼 (森)	短・中・長	5% ~ 100% (0.5% 刻み)
昼 (海)	短・中・長	5% ~ 100% (0.5% 刻み)
朝夕	短・中・長	100% (固定)
日出入	短・中・長	24% (固定)
夜	短	9% (固定)
昼消灯	短	5% ~ 100% (0.5% 刻み)
朝夕消灯	短	5% ~ 100% (0.5% 刻み)
全消灯	短	0% (固定)

フェード時間の目安は以下の通りです。

フェード時間は現在の空の状態/調光率から変更後の空の状態/調光率に到達するまでの時間を表します。

フェード設定	フェード時間
短	1 秒
中	10 分
長	60 分



※全消灯から点灯する場合、フェード設定に関わらずフェード短（1 秒）で動作します。

※空の状態を連続して切り替えると、空の状態の移行開始が遅れる場合がありますので、空の状態の切り替え操作は 2 秒以上間隔をあけてください。

※複数の照明器具を同時に制御する場合、空の状態の切り替えが完了するまでの時間は、照明器具ごとに差が生じる場合があります。

※空の状態を切り替え直後は、ちらつく場合があります。

※照明器具の電源 OFF 後に、短時間（約 5 秒以内）で電源 ON を行うと、電源 ON 直後にリモコン操作を受けつけない場合があります。リモコン操作を受けつけない場合は、別の空の状態を送信後、再度変更したい空の状態を送信してください。

## 15.仕様

---

項目	内容
電源	単 3 アルカリ電池 2 本
質量	0.3kg
使用環境	使用周囲温度：0℃～40℃、使用周囲湿度：15～85%RH 屋内（但し、水、水蒸気、熱気、直射日光のあたらない ところ、腐食性ガス、振動、結露のおそれのない場所）



# MEMO

A series of 25 horizontal dashed lines for writing.

# 保証とアフターサービス

## <無償修理規定>

- 保証期間内に故障して、無償修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
- 無償保証期間及び範囲
  - 据付けた当日を含めた1年間としますが無償にて支給、修理するのは、故障した部品または当社が交換を認めたユニットに限ります。  
ただし、3項に記載する損傷や故障については、保証期間中であっても支給、修理は有償となります。
  - 本機による事故に起因した営業保証等の2次保証はいたしません。
  - 無償保証期間経過後の修理につきましては、お買上げの販売店に相談してください。
  - 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
  - 修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有償支給、有償修理になります。
  - 仕様範囲外で使用したことによる事故、損傷や故障の場合。
  - 改造した場合。
  - 操作方法が不備なことによる事故、損傷や故障の場合。
  - 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による事故、損傷や故障の場合。
  - その他、据付け、操作、調整、保守、取扱上常識となっている内容を逸脱した使用での事故、損傷や故障の場合。
- 本製品は日本国内専用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.
- この保証内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。  
したがってこの保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

購入日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

工事店名 \_\_\_\_\_  
電話 (        )        —  
FAX (        )        —

販売店名 \_\_\_\_\_  
電話 (        )        —  
FAX (        )        —

取扱い・修理のご相談は、まず  
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社  
三菱電機照明株式会社  
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40  
お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

☎ 相談窓口 照明技術相談センター  
0120-348-027 (無料)  
受付時間 9時～17時 (土・日・祝日は除く)  
FAX (0467) 46-8861